

.....

館園名 : 足立区立郷土博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1986年11月03日

所在地

- ・ 〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1

公式サイト

- ・ <http://www.city.adachi.tokyo.jp/> (足立区役所HP)

設立主体

- ・ 足立区教育委員会

運営主体

- ・ 足立区教育委員会

設立目的

- ・ 足立の歴史・生活文化に関わる資料の収集、保存、研究を行い、その成果を展示等で紹介するとともに、区民の学習と学習情報の拠点となる施設として設立。

展示概要

- ・ 常設展示:「足立の歴史」「足立のまつり」「足立の暮らし」の3テーマで、区域の歴史と民俗を紹介。

活動概要

- ・ 年に数回、特別展、企画展、収蔵品展などを開催。
- ・ 講演会、講座等を実施。
- ・ 展示図録、調査報告書、絵葉書などを販売。

延床面積

- ・ 2,562㎡

全職員数

- ・ 18名(常勤10名、非常勤6名、嘱託員2名)

年間運営費

- ・ 69,863,890円

総資料点数

- ・ 40,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：展示解説ボランティアグループ博友会

活動目的・経緯

- ・ 1990年8月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 35名（2004年）
- ・ 男性：9名、女性：26名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育委員会文化課郷土博物館 担当人数：常勤1名・その他（専門員（非常勤））1名

活動の種類

- ・ ①展示解説案内、②団体へのガイドツアー、③体験コーナー・写真展の開催、④資料整理。

活動その他

- ・ 第2、3土曜、日曜、祝日。
- ・ その他、団体予約に対応（平日・要予約）
- ・ ボランティア組織により運営。
- ・ 会長・副会長・会計が運営に当たる。
- ・ 担当学芸員のサポートがある。
- ・ 定例会（月1回）を第2木曜日に実施。
- ・ 館外見学会を実施。
- ・ 当番表を配布。
- ・ 隔年で、区の広報紙により、一般公募（約20名）。
- ・ 定年制なし。任期1年（ただし再任可）。
- ・ 養成講座（10日間）を実施（あだちの歴史、ボランティアのあり方、同和研修、博物館見学、解説実習など、全10回）。
- ・ ボランティアによる見学・学習会を実施。
- ・ 保険に加入している。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示解説案内

◇活動開始年

- ・ 1990 年

◇活動人数

- ・ 35 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 来館者個人に展示解説案内を行う。

◇活動日

- ・ 日、祝日、第 2、3 土曜 (無料公開日)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 午前、午後、2 人ずつ担当。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定例会 (月 1 回) を第 2 木曜日に実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 隔年募集。あだち広報等で募集 約 20 名 任期 1 年 (再任有り)

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ あだちの歴史、ボランティアのあり方、同和研修、博物館見学、解説実習など、全 10 回

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ 新会員の加入により、活動が活性化している。

◇課題と展望

- ・ 学校見学、高齢者施設の団体見学などにも、対応できるようにしたい。

◇その他

- ・

活動個別シート ②団体へのガイドツアー

◇活動開始年

- ・ 1990 年

◇活動人数

- ・ 35 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 団体へのガイドツアーを行う。

◇活動日

- ・ 団体の予約日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 都合のよい会員が対応する。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定例会 (月 1 回) を第 2 木曜日に実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 隔年募集。あだち広報等で募集 約 20 名 任期 1 年 (再任有り)

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ あだちの歴史、ボランティアのあり方、同和研修、博物館見学、解説実習など、全 10 回

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

・

◇評価

- ・ 来館者から、良い評価を得ている。
- ・ 見学時間が短く、十分な解説が出来ていない。

◇課題と展望

- ・ 団体の構成員内容に応じた解説ができるようになる必要がある。それにより、新しいニーズを掘り起こすことが出来ると思われる。

◇その他

・

活動個別シート ③体験コーナー・写真展の開催

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 35 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 体験コーナー・写真展を開催する。

◇活動日

- ・ 「昔の道具展」開催中の土・日・祝日。
- ・ 写真展の開催前日、および当日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 午前・午後、3 人体制（体験コーナー）。全員でシフトを組む。
- ・ 写真展の方は、博友会の有志が担当する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 定例会（月 1 回）を第 2 木曜日に実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 隔年募集。あだち広報等で募集 約 20 名 任期 1 年（再任有り）

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ あだちの歴史、ボランティアのあり方、同和研修、博物館見学、解説実習など、全 10 回

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・ 来館者サービスの向上、ボランティアの学習など、全てに効果的である。

◇課題と展望

- ・ より自主的な運営が望まれる。
- ・ 体験内容や展示の拡充により、一層の効果を上げることが期待される。

◇その他

- ・

活動個別シート ④資料整理

◇活動開始年

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 名 (年) ※博友会会員有志

◇活動内容

- ・ 民具の整理。

◇活動日

- ・ 第 2 木曜の 10:00～12:00、第 3 火曜日の 13:30～15:00。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 都合のよい会員が対応する。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定例会 (月 1 回) を第 2 木曜日に実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 隔年募集。あだち広報等で募集 約 20 名 任期 1 年 (再任有り)

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 担当学芸員が説明。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ 熱心な会員により、軌道に乗り始めた。

◇課題と展望

- ・ より自主的な活動ができるように、調査、ミニ展示、資料目録の作成などにつなげて行きたい。

◇その他

- ・

.....
館名 : 青梅市郷土博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1974年05月11日

所在地

・〒198-0053 東京都青梅市駒木町1-684

公式サイト

・<http://>

設立主体

・青梅市

運営主体

・青梅市教育委員会

設立目的

・郷土の資料そのほか文化的、教育的資料を収集し、保管し、および展示して、市民の利用に供し、その教養、学術および文化の向上に寄与するため。

展示概要

・考古・歴史・民俗の各資料を展示。

活動概要

- ・資料の収集、受贈及び受託。
- ・資料保管。
- ・資料の展示及びその説明・助言など。

延床面積

・786,171 m²

全職員数（常勤職員）

・5名（2004年10月現在）

年間運営費

・17,038,144円（2003年度）

総資料点数

・30,000点（2004年10月現在）

施設その他

- ・博物館(本館)・別棟収蔵庫。
- ・旧宮崎家住宅(重要文化財)、旧吉野家住宅（都指定有形文化財）、旧稲羽家住宅（都指定有形民俗文化財）、など。

2. ボランティア活動 名称：青梅市文化財解説ボランティア

活動目的・経緯

・青梅市郷土博物館、旧宮崎家住宅、旧吉野家住宅および旧稲羽家住宅において、市民が、自ら学び身につけた知識をもとに文化財の解説をするというボランティア活動をとおして文化財の知識を深めるだけでなく、自主的に運営するグループに発展させていくことを目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 17名（2004年4月現在）
- ・ 男性：8名、女性：9名
- ・ 平均年齢 53.2歳：男性 66.4歳、女性 45.0歳

ボランティア担当職員（2004年10月現在）

- ・ 部局名称：青梅市教育委員会 社会教育部 郷土博物館管理課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（嘱託職員）1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 活動に必要な知識及び技術の習得（講座）。
- ・ 博物館等にて解説。
- ・ 反省会などの開催。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：青梅市文化財解説ボランティア講座

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 17 名（2004 年 4 月現在）

◇活動内容

- ・ 解説活動に必要な知識及び技術の習得。

◇活動日

- ・ 毎奇数月の 1 回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 講師酬償金の支出。

◇運営（シフト 等）

- ・ 毎回出欠の確認を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 2 回「全体会議」を実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 任期は 1 年。毎年度末に登録者に対し「登録更新申請」をしてもらっている。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険の加入及び主な活動時に飲み物の提供は公費でまかっている。
そのほかは実費となる。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動開始から 2 年が経過し、新たに登録者を募集する時期になっている。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：解説活動

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 17 名（2004 年 4 月現在）

◇活動内容

- ・ 博物館、旧宮崎家、旧吉野家、旧稲羽家の 4 ヶ所で住宅及び展示品の解説を行う。

◇活動日

- ・ 休館日を除く毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 名札、腕章の貸与。博物館の解説時には休憩室を用意。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各個人の自主性により。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....
館園名 : 大島町貝類博物館「ぱれ・らめーる」

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1986年04月01日

所在地

- ・ 〒100-0101 東京都大島町元町2-20-1

公式サイト

- ・ <http://www16.ocn.ne.jp/~palais-o/>

設立主体

- ・ 大島町役場

運営主体

- ・ 大島観光協会

設立目的

- ・ 観光施設。

展示概要

- ・ 世界の貝、4000種、5万点展示。

活動概要

- ・ 常設展示、年1回特別展示。

延床面積

- ・ 400m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 1名（2004年12月現在）臨時職員4人（女性）

年間運営費

- ・ 円（2003年度）

総資料点数

- ・ 70,000点（2004年12月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：大島町観光ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 大島に来島される観光客に対して、火山、ツバキ、貝、等の案内をする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 20名（2004年12月現在）
- ・ 男性：7名、女性：13名
- ・ 平均年齢 60歳：男性 60歳、女性 65歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①三原山火山の案内、②椿公園の案内、③貝の博物館の案内、④待合所での総合案内。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 月1度の会合（個々の活動日の決定）。
- ・ ボランティア活動は祝祭日、土・日のみ。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000年

◇活動人数

- ・ 20名（2004年12月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

- ・ 土、日、祝祭日のみ。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 大島観光協会の下部組織。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年1回程、他県の状況視察。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年1回。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年1回 貝、椿、島の歴史、火山についてそれぞれ専門の講師による研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 参加人数が増えていない。

◇その他

・

.....

館園名 : 葛飾区郷土と天文の博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1991年07月20日

所在地

- ・ 〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

公式サイト

- ・ <http://www.city.katsushika.tokyo.jp/museum>

設立主体

- ・ 葛飾区

運営主体

- ・ 葛飾区教育委員会

設立目的

- ・ 古代以来葛飾郡の地にある自然と人間の歴史、および宇宙を身近に体験する科学教育の場として設立された。

展示概要

- ・ 郷土展示：旧葛飾郡域の地域史に関する「かつしかと水」「かつしかのあゆみ」「かつしかの暮らし」の3部構成。養老5年「下総郡葛飾郡大嶋郷戸籍」レプリカ、マジックビジョン東京低地のなりたち・カスリーン台風、葛西城関連、昭和30年代復元家屋など。
- ・ 天文展示：太陽望遠鏡による実物展示のほか、170名収容の18mプラネタリウム。

活動概要

- ・ 特別展・企画展ほか、年数回の収蔵品展、ボランティア活動成果展、講座、ジュニア向講座を行う。
- ・ 季刊の館だより、紀要、ブックレット、報告書を刊行。

延床面積

- ・ 4,993 m²

全職員数

- ・ 17名（正規職員8名、専門調査員（非常勤）9名）

年間運営費

- ・ 207,128千円（2004年度、正規職員の人件費を除く）

総資料点数

・

その他

・

2. ボランティア活動 名称：①考古学ボランティア、
②天体観測ボランティア、
③天文普及ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1992年4月、考古学ボランティア、活動開始。
- ・ 1998年4月、天体観測ボランティア、活動開始。
- ・ 2004年4月、天文普及ボランティア、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 145名（2004年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤2名・その他（非常勤）2名

活動の種類

- ・ ①考古学ボランティア、②天体観測ボランティア、③天文普及ボランティア。

活動その他

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ ボランティア証を提示すれば、活動日以外でも入館料が免除となる。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①考古学ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1992 年

◇活動人数

- ・ 96 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 考古学、地域史に関する調査研究と成果の公表（報告会・展示・刊行物）。
- ・ 博物館事業（考古分野）のサポート。

◇活動日

- ・ 原則月 2 回（ただし、7、8 月は、2 週間程度発掘調査がある）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 消耗品を支給。

◇運営（シフト 等）

- ・ 運営委員会（6～7 名）を組織し、活動内容・スケジュール等を決定する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア連絡紙を発行。
- ・ 年度末に、茶話会・報告会を開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 3 月に、広報等で公募。
- ・ 研修（考古学、および地域史に関する 12 コマの講義。講師は職員、および外部講師）を受講した者のみ正式登録。
- ・ 任期 1 年。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 史跡・他館の見学会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ ボランティア証を提示すれば、活動日以外でも入館料が免除となる。

◇評価

- ・ 館事業の柱の一つとして定着し、大きな成果を挙げている。

◇課題と展望

- ・ ボランティア活動の成果を、多くの方々に知って頂くことが課題。

◇その他

- ・

活動個別シート ②天体観測ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 43 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 観望会の実施。

◇活動日

- ・ 毎週金曜日。その他、土曜日、教育普及事業実施日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 6 グループに分かれ、順番に受け持つ。
- ・ 館により運営。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ メールングリストにより情報交換。
- ・ 全体集会、講習会、懇親会を開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 原則として 16 歳以上の方。
- ・ 必要に応じ、一定数を追加募集。
- ・ 年度ごとに更新。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 登録時や運営に必要な知識等は、館が実施。
- ・ 自主的な研修は、グループごとに実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ ボランティア証を提示すれば、活動日以外でも入館料が免除となる。

◇評価

- ・ 館事業の柱の一つとして定着し、大きな成果を挙げている。

◇課題と展望

- ・ グループどうしの交流が少なく、横のつながりを求める声が多い。
- ・ 天気が悪いと活動が十分に出来ない。

◇その他

- ・

活動個別シート ③天文普及ボランティア

◇活動開始年

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 6名(2004年)

◇活動内容

- ・ 天文学入門講座等の天文普及事業の実施。

◇活動日

- ・ 原則月2回(土曜日)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営(シフト 等)

- ・ 館により運営。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ メールングリストにより情報交換。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 区広報等で公募。
- ・ 条件:天文学、関連分野を専攻した方。
- ・ 年度ごとに更新。

◇研修(種類、内容、講師 等)

・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ ボランティア証を提示すれば、活動日以外でも入館料が免除となる。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 区民が主体となって、館内において1つの事業を完結する試みとして定着させていきたい。

◇その他

・

.....

館園名 : 財団法人 紙の博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1950年6月 日

所在地

・〒114-0002 東京都北区王子 1-1-3

公式サイト

・<http://www.papermuseum.jp>

設立主体

・製紙会社、製紙用具製造会社、紙販売会社などによる財団法人として設定

運営主体

・財団法人

設立目的

・紙に焦点をあて、歴史をたどり、現在を知り、未来を考える為に設立。

展示概要

・現在の製紙産業、紙の教室、紙の歴史、企画展。

活動概要

・常設示のほか、企画展、講習会、紙すき教室、研修会を開催。
図書館を開放。

延床面積

・2,268 m²

全職員数（常勤職員）

・11名（2005年1月現在）

年間運営費

・83,500,000 円（2003年度）

総資料点数

・18,000点（2005年1月現在）

施設その他

・展示室、収蔵庫、図書室、講堂。

2. ボランティア活動 名称：OBボランティア

活動目的・経緯

- ・製紙業界のOBの知識・経験の活用を目的として平成10年度に発足した。現在、技術系のOBのほか、紙すき補助のため近郊からも募集。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・11名（2005年1月現在）
- ・男性：10名、女性：1名
- ・平均年齢68歳：男性68歳、女性50歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・部局名称：事務部
- ・担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・入館者に対する案内、説明、解説。
- ・紙すき教室の補助。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・特になし。

関連する出版物

- ・なし

関連するHP

- ・<http://www.papermuseum.jp>
（館内ホームページと共用）

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし。

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・1998年

◇活動人数

- ・11名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・入館者に対する案内、説明、解説。
- ・紙すき教室の補助。

◇活動日

- ・開館日各1名及び土・日に開催する紙すき教室1～2名。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・原則開館日各1名。

◇交流（情報、組織 等）

- ・特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・適宜。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費、保険。

◇評価

- ・特になし。

◇課題と展望

- ・特になし。

◇その他

- ・特になし。

.....
館園名 : 切手の博物館

1. 施設の概要

開館年月日

・ 1996 年 04 月 08 日

所在地

・ 〒171-0031 東京都豊島区目白 1-4-23

公式サイト

・ <http://yushu.or.jp/museum/>

設立主体

・ 財団法人切手の博物館

運営主体

・ 同上

設立目的

・ 日本及び世界各国の郵便切手及び郵便資料類を収集し、保存するとともに、広く一般の鑑賞に供し、持って我が国の郵便文化の振興と発展に寄与することを目的として設立。

展示概要

- ・ 企画展示…3 ヶ月ごとにテーマを変えて開催。
- ・ 特別展示…短期間の展示を、年 5～6 回開催。
- ・ 常設展示…日本最初の切手、世界最初の切手。

活動概要

- ・ ギャラリートーク、講演会、切手貼り絵教室、切手貼り絵コンテスト、出張講座、出張展示、鑑定サービス等。
- ・ 友の会ニュース「Ma y (めい)」、館情報チラシ「Ma y つ子」、「研究紀要」などを発行。

延床面積

・ 1286 m²

全職員数

・ 5 人

年間運営費

・ 約 37,000 千円 (2003 年度)

総資料点数

・ 約 28 万点

その他

特になし

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

・

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 20～30名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 古切手（使用済み切手）の区分。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 豊島区ボランティアセンターが夏休みに向け募集する「夏！体験ボランティア」の受入機関のひとつとして活動。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①古切手の区分

◇活動開始年（西暦）

- ・2002年

◇活動人数

- ・20～30名（ 年 月現在） 毎年20～30名が参加。

◇活動内容

- ・古切手の区分。

◇活動日

- ・7～8月のみ。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・豊島区ボランティアセンター。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費、保険は本人負担。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 清瀬市郷土博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1985年11月02日

所在地

- ・ 〒204-0013 東京都清瀬市上清戸2-6-41

公式サイト

・

設立主体

- ・ 清瀬市

運営主体

- ・ 清瀬市

設立目的

- ・ 「先人の知恵に学ぶ」「生活の舞台としての武蔵野台地」という基本テーマを根底に、「やすらぎと潤いに満ちた豊かな生活、ふれあいのあるまちづくり」を目指して建設。

展示概要

- ・ 伝承スタジオでは、清瀬の長い歴史を受け継いできた人々の知恵を体験できる。
- ・ 市内各所の遺跡より出土した遺物および市民より寄贈された民具を収蔵。
- ・ 歴史展示室：江戸時代の清瀬の村々を、「法と税」、「信仰の旅」、「教育」、「飢饉」、「水車稼ぎ」、「名主の家」などのテーマに沿って解説。
- ・ 民俗展示室：清瀬の人々のくらしを農具や道具で展示し、年中行事とのかかわりも描く。
- ・ インフォメーションセンター：空中写真・伝統芸能・文化財などを映像で紹介。
- ・ 映像展示室：清瀬の自然、歴史、伝統芸能を、映像で体験出来る。
- ・ 伝承スタジオ：年中行事や昔の生活を体験できる。

活動概要

- ・ 企画展、伝承スタジオ体験シリーズ、映画鑑賞、観察会などを実施。
- ・ 絵本、清瀬のイラストマップ、清瀬の史跡散歩、年報などを刊行。

延床面積

- ・ 2,207 m²

全職員数

- ・ 8名（嘱託職員、臨時職員を含む）

年間運営費

- ・ 74,144千円（2004年度予算、文化財保護費を含む）

総資料点数

- ・ 約32,000点（考古資料以外） 約1,020箱（考古資料）

その他

・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 2002年12月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 36名（2002年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：事業係 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①企画展にまつわる事業の企画運営、②企画展時の案内・誘導整理。

活動その他

- ・ 企画展の期間に合わせて活動。
- ・ 館とボランティアが共同で運営している。
- ・ 各自が適宜行っている。
- ・ 公募はしていない。企画展に見合った人材に依頼している。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 研修は、行っていない。
- ・ ボランティア団体が組織化されていないため、話をまとめるのが困難な場合がある。
- ・ 研修制度が無いため、係当番者が持ち場に不在の場合、対応に困る場合がある。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

- ・ ボランティア団体「ケヤキロードギャラリーを愛する会」が、野外彫刻（市道の歩道に設置）のあるエリアの清掃を、毎週火曜日に行っている（2004年4月現在、男性7名、女性13名）。

活動個別シート 企画展にまつわる事業の企画運営、企画展時の案内・誘導整理

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 36 名 (2002 年)

◇活動内容

- ・ 企画展にまつわる事業の企画運営。
- ・ 企画展の会場案内及び誘導整理。

◇活動日

- ・ 企画運営活動は、企画展開催前から終了まで。
- ・ 誘導整理活動は、企画展会期中。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 館からの声かけと、参加者からの紹介で募集。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 企画展ごとに、その企画展に見合った人材に依頼している。

.....

館園名 : くにたち郷土文化館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1994年11月16日

所在地

- ・ 〒186-0011 東京都国立市谷保 6231

公式サイト

- ・ <http://www.kuzaidan.com/province/index.html>

設立主体

- ・ 国立市

運営主体

- ・ 財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

設立目的

- ・ 郷土の歴史と自然、文化を市民に伝え、次代の人々に継承する文化施設として開設。
- ・ 市内に点在する遺跡から出土した考古資料や近世文書など歴史資料、民俗資料さらに動植物など自然資料を対象に、収集・保管・調査研究・展示して市民の利用に供し、その教養、学術および文化の発展に寄与することを目的としている。

展示概要

- ・ 峰上遺跡・南養寺などの出土資料、江戸後期から昭和中頃までの民俗資料などを中心に収蔵。
- ・ 常設展テーマ「過去・現在・未来を結ぶー多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たちー」。

活動概要

- ・ 企画展（年3～5回）、歴史講座、星空観察会、稲作事業などを開催。
- ・ 古民家で年中行事の再現や体験事業を実施。
- ・ 市民による自主グループの活動を積極的に支援。

延床面積

- ・ 2,181㎡

全職員数

- ・ 11人

年間運営費

- ・ 85,000千円（2003年度）

総資料点数

- ・ 16,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：くにたちの暮らしを記録する会

活動目的・経緯

- ・ 1995年1月、活動開始。
- ・ 民具の収集・調査などは、当館設立以前（1979年）より行ってきた。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 17名（2004年）
- ・ 男性：8名、女性：9名（2004年）
- ・ 平均年齢70歳：男性70歳、女性70歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育委員会生涯学習課 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①体験学習の指導。

活動その他

・

関連する出版物

- ・ に一だんご（不定期発行）

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

- ・ くにたちの暮らしを記録する会の他に、NPO国立市動物調査会、植物調査会、拓本の会等があり、共催展示や事業などで連携している。

活動個別シート ①体験学習の指導

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 17 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 市内公立私立小学校 3 年生を対象に、館収蔵の民具類を用いて昔の暮らしや文化を説明し、縄ない体験を指導。
- ・ 田植えから収穫まで、一年を通して行われる稲作体験事業の指導。
- ・ 当館の各種体験事業の指導。

◇活動日

- ・ 事業開催日はほぼ全日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 講師料を払っている。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 事業によって異なるが、ほぼ全員が参加し指導を行う。
- ・ 館・ボランティアの共同組織により運営。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 事業前に事前打ち合わせを行っている。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 不定期に募集。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティアが自主的に勉強会・研修会を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ 館側としては特に評価をしてはいない (事業に参加された市民のアンケート、体験学習を終えた児童の感想文などの間接的な評価のみ)。

◇課題と展望

- ・ 当館の事業はもちろん、さまざまなことで協力を仰いでいる。そのため本ボランティアは当館にとって必要不可欠な組織となっている。それだけに、メンバーの固定化・高年齢化が問題点である。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 交通博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1921年10月14日

所在地

- ・ 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-25

公式サイト

- ・ <http://www.kouhaku.or.jp>

設立主体

- ・ 東日本旅客鉄道株式会社（※設立当時は国鉄）

運営主体

- ・ 財団法人交通文化振興財団

設立目的

- ・ 鉄道の進歩・発達の足跡や現状を「物質的」な側面から記録し、研究材料として提供することにより、将来の鉄道の発展に貢献。また、職員や一般公衆の鉄道に関する知識を「開発普及」すること。

展示概要

- ・ 1階：鉄道。2階：船舶・自動車。3階：航空・あすの交通・人力の交通。
- ・ 展示資料：約 2,000 点。

活動概要

- ・ 交通に関する資料の収集・保管・展示・調査研究。ほか随時交通関係の教育普及活動を実施。図書室・映画ホール等で交通関係資料を公開。外部の団体へ必要な資料の提供や貸出を行っている。

延床面積

- ・ 5,023 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 15 名（2005 年 1 月現在）

年間運営費

- ・ 円（ 年度）

総資料点数

- ・ 約 263,700 点（2004 年 5 月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：パノラマボランティア

活動目的・経緯

- ・ 当館で行われている模型鉄道パノラマ（ジオラマ内を 80 分の 1 スケールの鉄道模型を走らせながら解説。各回 20 分程度）の土・日・祝日の補助として（月に 1・2 回）。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 1 名（2005 年 1 月現在）
- ・ 男性：1 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 42 歳：男性 42 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：学芸課
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 模型鉄道パノラマの運転および解説。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 参考
パノラマ時刻表 平日 3 回（11：00／13：30／15：00）
土・日・祝日（10：30／11：30／12：30／13：30／14：30／15：30）

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 模型鉄道パノラマの運転および解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 1 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 模型鉄道パノラマ（ジオラマ内を 80 分の 1 スケールの鉄道模型を走らせながら解説。各回 20 分程度）の土・日・祝日の補助として活動。

◇活動日

- ・ 月に 1・2 回（土・日・祝日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 鉄道模型運転という特殊な技能が必要とされるため、なかなか活動人数を増やすことができない。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 国立西洋美術館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1959 年 6 月 01 日

所在地

・ 〒110 -0007 東京都台東区上野公園 7-7

公式サイト

・ <http://www.nmwa.go.jp>

設立主体

・ 文部省

運営主体

・ 独立行政法人国立美術館

設立目的

・ フランス政府から寄贈返還された松方コレクション (印象派の絵画およびロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション) を基礎に西洋美術に関する作品を広く公衆の観覧に供するために設立。

展示概要

・ 松方コレクションの作品および創立以来毎年購入しているルネッサンス以降 20 世紀初頭までの作品および寄贈・寄託作品を常設展として年間を通して開催。

活動概要

・ 欧米の美術館等からの借用作品によって当館の自主的な特別展を年 1 回、新聞社等の共催展を年 2 回程度開催し、西洋美術を紹介。

・ 講演会、シンポジウム、ギャラリートーク、スライドトーク、先生のための鑑賞プログラム、コンサート、ファミリープログラムなどを実施。

・ 図録、年報、要覧、館ニュース「ZEPHYROS」などを発行。

延床面積

・ 17,547 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 31 名 (2004 年 11 月現在)

年間運営費

・ 929,570,000 円 (2003 年度) 人件費をのぞく

総資料点数

・ 4364 点 (16 年 3 月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：国立西洋美術館ボランティア

活動目的・経緯

・2004年4月、ファミリーや児童・生徒を対象とするプログラムを通して、所蔵作品と鑑賞者をつなぐ架け橋となってくれるボランティアを募集。6月より研修が行われ、11月より下記の①「びじゅつーる」貸し出し開始、現在2月から始まる②「どようびじゅつ」、③スクール・ギャラリー・トークに向けて引き続き研修を行い、準備をすすめている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 19 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 0 名、女性： 19 名
- ・ 平均年齢 39.4 歳：男性 歳、女性 39.4 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 教育普及室
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（非常勤 ） 1 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①当館にて作成されたファミリー向け観賞用教材、「びじゅつーる」の貸し出し受付。
- ・ ②ファミリー向け体験型プログラム「どようびじゅつ」の実施（2005年2月より実施）。
- ・ ③「スクール・ギャラリー・トーク」（2005年5月より実施）
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営。
- ・ ボランティア・コーディネーターが研修活動日のスケジューリング、美術館との連絡調整を担当。
- ・ 19人のメンバー全員が①②③の活動すべてに関わる。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①「びじゅつーる」貸出受付

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 19 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 当館で作成した観賞用教材の貸出、返却といった受付業務。

◇活動日

- ・ 第二、第四土曜日（②「どようびじゅつ」のない日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室（関連書籍、コンピューター、プリンター／コピー機などあり）。

◇運営（シフト 等）

- ・ 午前と午後のシフトで各 3～4 名（一ヵ月半に 1 回）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ e-mail。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 印刷物「ボランティア募集案内」を当館ロビー、近隣の美術館にて配布。
- ・ Web 上では当館 HP、ML に記載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（職員によるコレクション概説、教育理論、「びじゅつーる」の目的と利用方法、模擬トークなど）。
- ・ 自己研修のため、名作選をはじめとする資料の配布。情報資料室での資料閲覧、コピーも可能。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費のみ実費で支給（1000 円まで）。ボランティア保険に加入。
- ・ 展覧会の優待券、ミュージアムショップでの割引、併設レストランでの割引など。

◇評価

- ・ 現在のところ行っていない。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②「どようびじゅつ」実施

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2005 年

◇活動人数

- ・ 19 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ ファミリー対象の体験型プログラムにてトーク、創作の補助。

◇活動日

- ・ 第二、第四土曜日（②「びじゅつーる」貸出のない日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室（関連書籍、コンピューター、プリンター／コピー機などあり）。

◇運営（シフト 等）

- ・ 午前と午後のシフトで各 4～5 名（一カ月に 1 回）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ e-mail。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 印刷物「ボランティア募集案内」を当館ロビー、近隣の美術館にて配布。
- ・ Web 上では当館 HP、ML に記載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（職員によるコレクション概説、教育理論、「びじゅつーる」の目的と利用方法、模擬トークなど）。
- ・ 自己研修のため、名作選をはじめとする資料の配布。情報資料室での資料閲覧、コピーも可能。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費のみ実費で支給（1000 円まで）。ボランティア保険に加入。
- ・ 展覧会の優待券、ミュージアムショップでの割引、併設レストランでの割引など。

◇評価

- ・ 現在のところ行っていない。

◇課題と展望

- ・ 最初のうちは職員が企画したものを実施の段階でボランティアスタッフに任せているが、慣れてきたら企画の段階から関わってもらい、より自主的に参加してもらえるとよい。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③スクール・ギャラリー・トーク

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2005 年

◇活動人数

- ・ 19 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 学校の児童生徒向けの対話型トーク。

◇活動日

- ・ 5,6,7,8,11,12,1,2 月の火・木・金曜日で学校からの依頼があったとき。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室（関連書籍、コンピューター、プリンター／コピー機などあり）。

◇運営（シフト 等）

- ・ 学校団体の人数に応じて、児童、生徒約 10 人に対してボランティアスタッフを一人割り当てる。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ e-mail。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 印刷物「ボランティア募集案内」を当館ロビー、近隣の美術館にて配布。
- ・ Web 上では当館 HP、ML に記載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（職員によるコレクション概説、教育理論、「びじゅつーる」の目的と利用方法、模擬トークなど）。
- ・ 自己研修のため、名作選をはじめとする資料の配布。情報資料室での資料閲覧、コピーも可能。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費のみ実費で支給（1000 円まで）。ボランティア保険に加入。
- ・ 展覧会の優待券、ミュージアムショップでの割引、併設レストランでの割引など。

◇評価

- ・ 現在のところ行っていない。

◇課題と展望

- ・ 現在は五月からの本番に向け模擬トークを行い準備をすすめている。

◇その他

- ・

.....

館園名 : サイエンスドーム八王子 (八王子市こども科学館)

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

- ・ 1989年01月27日

所在地

- ・ 〒192-0062 東京都八王子市大横町9番13号

公式サイト

- ・ <http://www.edu.city.hachioji.tokyo.jp/sciencedome>

設立主体

- ・ 八王子市教育委員会

運営主体

- ・ 八王子市教育委員会

設立目的

- ・ プラネタリウムを通して天文や宇宙の学習の機会を、また基礎物理を中心とした展示物の操作により科学の原理や応用について学習する機会を提供する。

展示概要

- ・ 基礎物理の「力と運動」「音と光」「波動」「電気と磁気」「錯覚」をテーマにした展示物。

活動概要

- ・ パソコン教室、科学工作教室、科学実験ショー、星空コンサート、星空観望会等。
- ・ その他特別イベント。

延床面積

- ・ 2,996.06 m²

全職員数 (常勤職員)

- ・ 9名 (2004年12月現在) (内3名 嘱託員)

年間運営費

- ・ 78,557,000円 (2003年度)

総資料点数

- ・ 展示47点 (2004年12月現在)

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：こども科学館 展示物ガイドボランティア

活動目的・経緯

- ・ 当館の利用者サービスの付加価値の向上、市民参加することで生涯学習の機会提供と地域社会との絆を深める。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 6名（2004年 12月現在）
- ・ 男性：4名、女性：2名
- ・ 平均年齢 57歳：男性 67歳、女性 38歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：こども科学館
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示物ガイド。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・ なし。

関連するHP

- ・ <http://>なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：展示物ガイドボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 6 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 展示物の操作や原理など来館した方に説明する。

◇活動日

- ・ 基本的土・日・祝 及び春・夏・冬休み期間。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算はボランティア保険料 3000 円のみ。

◇運営（シフト 等）

- ・ 土・日・祝を中心に本人の希望日（シフト表を事前に提供）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 16 年 4 月市広報に掲載、館内の掲示。随時募集、任期なし。
選考は面接。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 3～4 日間の事前研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費、食事なし 当館にてボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : すみだ郷土文化資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1998年04月12日

所在地

- ・ 〒131-0033 東京都墨田区向島2-3-5

公式サイト

- ・ <http://www.city.sumida.tokyo.jp/users/kyoudobunka/>

設立主体

- ・ 墨田区

運営主体

- ・ 墨田区教育委員会

設立目的

- ・ 「ふるさととの出会い、ときめきへの旅」をスローガンに、墨田区の歴史・伝統文化を紹介し、遺された文化遺産を保存・継承していくことを目的に設立。

展示概要

- ・ 1階：ふるさと「すみだ」の歴史やゆかりの人物などに焦点を当て展示。
- ・ 2階：梅若伝説やレガッタなど、「隅田川」をテーマとして構成。
- ・ 3階：「すみだ粋の世界」：伝統工芸品を展示（企画展開催時以外）。

活動概要

- ・ 企画展・特別展、講座・講演会の開催。
- ・ 常設展示図録、特別展示図録を刊行。教育委員会発行図書とともに、ミュージアムショップで販売。

延床面積

- ・ 1520.99 m²

全職員数

- ・ 8名

年間運営費

- ・ 42,000千円（2004年度）

総資料点数

- ・ 4,000点（写真を含む）

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：すみだ郷土文化資料館ボランティアの会

活動目的・経緯

- ・ 1998年8月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 47名（2004年）
- ・ 男性：19名、女性：28名（2004年）
- ・ 平均年齢58歳：男性64歳、女性50歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤1名・その他（専門員）1名

活動の種類

- ・ ①展示解説、②展示替えの手伝い、③史跡案内・見学会・勉強会の実施、④すみだ郷土かるたの普及・販売、⑤収蔵写真の整理・定点撮影、⑥その他館事業の補助。

活動その他

- ・ 年1回の総会で選出された役員を中心に運営。
- ・ 月1回、打合せ会を実施。
- ・ 月1回（土曜日）、連絡会を実施。情報交換のほか、活動予定について検討。
- ・ 親睦会、年1～2回。
- ・ 不定期に、一般公募。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 活動開始当初、館が養成講座を実施（2004年に第2回養成講座を実施）。
- ・ ボランティア保険に加入（費用は区が負担）。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示解説

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 20 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 来館者への展示解説 (団体向け・個人向け)。

◇活動日

- ・ 毎月第 2、第 3 日曜の午後が、定例解説日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 定例解説は、当番制 (1 回、3~5 人程度)。
- ・ 来館者 (団体) の依頼による解説は、その都度担当を決める。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡会月 1 回、その他打ち合わせ月 1 回、総会年 1 回、親睦会年 1~2 回

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 随時。解説ボランティアの場合は養成講座を受講する必要がある。
- ・ 定年制、任期制はなし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 古文書講座、月 1 回 (専門員が講師)。
- ・ 展示替えにともなう専門員の解説あり。
- ・ 自主見学会あり。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (費用は区が負担)。
- ・ 謝礼金を個人あてに支給。

◇評価

- ・ 担当する人が固定化し、当初の意欲が失われつつある。

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート ②展示替えの手伝い

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 20 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 企画展の展示替えの手伝い。

◇活動日

- ・ 企画展の展示替え時 (年 5～6 回)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

◇運営 (シフト 等)

- ・ 一部の人に重複しないように、持ち回り制。
- ・ 1 回 5 人程度。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 随時募集。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 資料の取り扱いについて、研修を行う。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (費用は区が負担)。
- ・ 謝礼金を個人あてに支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③史跡案内・見学会・勉強会の実施

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 30 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 史跡案内は、館の周辺のみ。館の解説に合わせて実施する場合あり。

◇活動日

- ・ 見学会 (年 3~4 回)。
- ・ 勉強会 (月 1 回)

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 勉強の会場を提供する。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 一部の人に重複しないように、持ち回り制。
- ・ 1 回 5 人程度。

◇交流 (情報、組織 等)

・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 随時募集。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 資料の取り扱いについて、研修を行う。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (費用は区が負担)。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート ④すみだ郷土かるたの普及・販売

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 20名(2004年)

◇活動内容

- ・ 作成から携わった「すみだ郷土かるた」の普及・販売活動。

◇活動日

- ・ 随時活動。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 館から依頼した場合は、謝礼金を支給。

◇運営(シフト 等)

- ・ 一部の人に重複しないように、持ち回り制。
- ・ 1回5人程度。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 随時募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入(費用は区が負担)。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤収蔵写真の整理・定点撮影

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 10 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 館収蔵写真の整理・データ作成・定点撮影。

◇活動日

- ・ 月 1 回～2 回 (水曜日)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 一部の人に重複しないように、持ち回り制。
- ・ 1 回 5 人程度。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 随時募集。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (費用は区が負担)。
- ・ 謝礼金を個人あてに支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 世田谷美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1986年03月30日

所在地

- ・ 〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2

公式サイト

- ・ <http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

設立主体

・

運営主体

- ・ 財団法人せたがや文化財団

設立目的

・

展示概要

- ・ 世田谷ゆかりの作家の作品を収蔵。(日本画) 高山辰雄、郷蔵千靱ら。(洋画) 向井潤吉、福沢一郎ら。(版画) 駒井哲郎、稲垣知雄。(彫刻) 柳原義達、舟越保武ら。(工芸) 帖佐美行、山崎覚太郎ら。(その他) 河原温、福田繁雄ら。

活動概要

- ・ 企画展、収蔵作品展、各種講座・ワークショップ、美術大学・コンサートなどのパフォーマンス、パンフレット・カタログなどの出版、オリジナル商品の開発、区民ギャラリー(貸しギャラリー)

延床面積

- ・ 8,577 m²

全職員数

- ・ 41人

年間運営費

・

総資料点数

- ・ 約11,392点(2005年3月末現在)

その他

・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 1997年5月、鑑賞リーダーの活動を開始。行政の要請ではなく、館、利用者のタイミングが合わさり、自然発生的に始まった。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 156名（2004年）
- ・ 男性：65名、女性：91名（2004年）
- ・ 平均年齢46.5歳：男性52歳、女性41歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸部教育普及課 担当人数：常勤1名（兼任）・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①鑑賞リーダー、②展覧会ボランティアスタッフ。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①鑑賞リーダー

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 169 名 (2005 年) (登録者 : 425 名)

◇活動内容

- ・ 世田谷区小学校美術鑑賞教室の引率・案内。
- ・ ミュージアムツアー (小中学生を中心とした一般対象) での引率・案内。

◇活動日

- ・ 子どもの来館する日、イベントのある日に活動 (鑑賞教室年 32 日、その他団体年約 20 日、夏休み 30 日)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館により運営 (ボランティア個人と館が対等。組織にはなっていない)。
- ・ 活動回数に関する規定は設けられていない。
- ・ 急な参加やキャンセルも、とくに規制はしていない。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ メールリングリストを活用。
- ・ 情報交換会・交流会 (遠足) などを実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 公募は行っていない。口コミが基本。
- ・ 登録の上、年度更新で活動に参加して頂く。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 本人が申し出るか、年度更新の連絡に 3 年以上返事のない場合は確認の上、登録を外すこともある。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年 10 回程度の勉強会を開催 (講師 : 学芸員。館の概要や、展覧会に関するレクチャーやワークショップ)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 活動のある展覧会の資料とチケットを 2 枚配布。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

- ・ マニュアル・ノルマ・メリット等、とくになし。

活動個別シート ②展覧会ボランティアスタッフ

◇活動開始年

- ・ 1996年

◇活動人数

- ・ 名（年）※活動内容の項参照

◇活動内容

- ・ 来日した海外の作家5人の付き人。空港の送り迎え、作家に張り付いての展示アシスタントなど（1997年の「デ・ジェンダリズム」展）。
- ・ マリー＝アンジュ・ギュノのインスタレーションで、マッサージ係（足もみ隊）として来館者の足を揉む（1997年の「デ・ジェンダリズム」展）。
- ・ ライト・スタッフ163人が、体験型作品を操作・案内（1998年「ジェームズ・タレル」展）。
- ・ ローディ（バンドの付き人の意）22人が、大竹伸朗作品の無人演奏の楽器を裏で操作（1999年の「時代の体温」展）。
- ・ 作家のアシスタント（16人）、オープニングを飾ったファッションショーのモデル（9人）を務める（1999年の「パサーージュ——フランスの新しい美術」展）。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 短期間限定で公募。
- ・ 応募多数の場合は、コンスタントに参加できる方を優先し、後は抽選とした。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 展覧会説明会、作品説明会などを実施（特に行わない場合もある）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 希望者のほとんどは、美術館学芸員やアーティストを目指す学生。内実、実習的な要素を期待している。

.....

館園名 : 台東区立下町風俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1980年10月01日

所在地

・〒110-0007 東京都台東区上野公園2番1号

公式サイト

・<http://www.taitosity.net/taito/shitamachi>

設立主体

・東京都台東区

運営主体

・財団法人 台東区芸術文化財団

設立目的

・江戸時代以来の下町の生活（文化）を後世に継承するため。

展示概要

・明治・大正・昭和（40年代頃まで）の下町での生活・風習・社会的事象などに関連する資料を展示している。

活動概要

・下町に伝わる伝統工芸や子供たちに人気の街頭紙芝居の実演や区内小学生を対象として昔のあそびやくらしを学ぶ「こども土曜塾」を実施するなどしている。

延床面積

・1,071 m²

全職員数（常勤職員）

・12名（平成16年11月現在）

年間運営費

・約27,500,000円（2003年度） 但し、人件費を除く

総資料点数

・約70,000点（16年4月現在）

施設その他

・関連図書の販売。

2. ボランティア活動 名称：首都圏SGGクラブ

活動目的・経緯

- ・来館外国人（英語圏）に対する館内案内。
- ・当館には毎年4,500人位の外国の方が入館されます。この人たちに下町文化を紹介することを目的に平成15年度から実施。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 40名（16年11月現在）
- ・ 男性：15名、女性：25名
- ・ 平均年齢60歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（16年11月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 館内展示物等の案内。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・パンフレット

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・2003年

◇活動人数

- ・40名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・半日ごとに交代で外国人（英語圏）に対する館内案内。

◇活動日

- ・（16年11月現在）火～木・日（月曜日が休館日）

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・文房具程度。

◇運営（シフト 等）

- ・半日交代で従事。

◇交流（情報、組織 等）

- ・団体役員との情報交換等（随時）。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・募集でなく、団体（SGG）会員からの派遣。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・専門員による解説。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費程度。

◇評価

- ・実施後、日が浅いので特に行っていない。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 多摩六都科学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1994年03月01日

所在地

- ・ 〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-10-64

公式サイト

- ・ <http://www.tamarokuto.or.jp>

設立主体

- ・ 多摩六都科学館組合

運営主体

- ・ 多摩六都科学館組合

設立目的

- ・ 多摩北部都市広域行政圏を構成する小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の5市が、拠点的生涯学習・文化施設として、次代を担う子どもたちの夢を育み、科学する心を養うとともに、各世代の教養を高め、文化の振興に寄与することを目的に設立。

展示概要

- ・ 宇宙・生命・生活・地域・地球の5つの展示室。来館者との対話が深められ、科学技術に親しみが持てるように、参加体験型のものが多い。常設展示室は、約100点の展示物で構成。
- ・ 世界最大級の傾斜型プラネタリウムでは、本物そっくりの星空と四季ごとに替わるテーマ番組を楽しむことができる。

活動概要

- ・ 特別展・企画展の開催により、科学・技術への多面的理解を図る。
- ・ 学習教室やワークショップの開催を通して、科学的思考や原理の探求を体験学習できる。
- ・ プラネタリウムを活用した天文・宇宙への幅広い普及活動を行い、感動や驚き、発見の場とする。

延床面積

- ・ 約6,800㎡

全職員数

- ・ 組合職員12名（館長含む）（教育スタッフ（約25名）は、別途委託）

年間運営費

- ・ 830,000千円（2003年度）

総資料点数

- ・ 10,000点以上（但し、整理作業中のものを含む）

その他

- ・ 評価を柱にした経営と運営の改革に取り組んでいる。

2. ボランティア活動 名称：多摩六都科学館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2001年1月、市民の学習機会と社会参加の場として活用を図ることを目的に設立。
- ・ 展示の簡単な操作説明、館内案内から始まり、展示ツアーの実施や、自主企画イベントの主催、各種ワークショップの開催へと発展中である。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 60名（2004年）
- ・ 男性：31名、女性：29名（2004年）
- ・ 平均年齢55歳：男性55歳、女性55歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：管理運営課企画担当 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①ワークショップ、②ハンズ・オンコーナーの運営、③展示ツアーの実施、④特別展・企画展の案内、⑤天体観望会の案内。

活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。
- ・ 館により運営。
- ・ 代表、および副代表（2名）を選出し、執行部として全体の調整を図り、運営の主体となりつつある。
- ・ 曜日ごとに活動。
- ・ リーダー会（月1回）、全体会（年2回）を実施。
- ・ 定年制なし。
- ・ 1年ごとに更新。
- ・ 館が、他の施設見学、および館内研修（年2回）を実施。
- ・ 代表及び副代表（2名）を選出し、執行部として全体の調整を図り、運営の主体となりつつある。（2004年5月から）

関連する出版物

- ・ 「科学館ニュース」（年4回発行）に、ボランティアのワークショップ等の記事を掲載。

関連するHP

- ・ 科学館のHPに、ボランティアのサイトの開設を準備している。

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①ワークショップ

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 3～5 名 (年)

◇活動内容

- ・ ボランティアワークショップを行う (ペーパープレーン作成と飛行大会、紙コップとコイルの手作りスピーカー工作、押し花の絵はがき作りなど)。

◇活動日

- ・ 任意。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 消耗品代として、100,000 円を計上。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 各曜日班から、希望者を募る。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 4～5 月に一般公募。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 学習室スタッフ主催の教室運営研修に参加することを条件に、学習系ワークショップの補助、または実施をしてもらう。
- ・ 自主研修、自主調査も、一部行われている。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②ハンズ・オンコーナーの運営

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 60名(2004年)

◇活動内容

- ・ ハンズ・オンコーナーを運営し、科学的な“あそび”のプログラムを実施。

◇活動日

- ・ 火曜日～日曜日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ 活動費として、年間約4,500千円を計上。
- ・ ボランティア室あり(書籍、パソコン、机、ロッカーなどを備えている)。

◇運営(シフト等)

- ・

◇交流(情報、組織等)

- ・ 月1回、各曜日班のリーダーと執行部による定例リーダー会を開催(月ごとに開催曜日をずらしている)。
- ・ 年数回、全体会を開催(消防避難誘導訓練、プラネタリウム新番組試写会、館長との懇談会などを併せて実施し、出席を促している)。
- ・ 他館ボランティアとの交流会、忘年会を実施。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 毎年3～4月にかけて、主に構成市の広報紙の広報紙やチラシによって募集。人数は数名。
- ・ 資格:意欲のある18歳以上の方。
- ・ 面接にて選考し、職員による事前研修(2～3日間)終了後に登録。
- ・ 定年制なし。登録期間1年間(更新可)。

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 交通費、昼食代補助として、1人2,000円を支給。

◇評価

- ・ 貢献者の顕彰を行う。
- ・ 2004年度から、社会貢献を真剣に考える方が増えてきた。

◇課題と展望

- ・ 曜日ごとの活動から、目的別チーム制への移行を図り、活動の広がり自主性、自律性の向上を図りたい。
- ・ 友の会との融合を果たし、館の支援組織としての独立性を高め、互いにパートナーとしての認識に立つこと。

◇その他

- ・

活動個別シート ③展示ツアーの実施

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 60名(2004年)

◇活動内容

- ・ 展示室5室を案内するツアーを実施。

◇活動日

- ・ 火曜日～日曜日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ 活動費として、年間約4,500千円を計上。
- ・ ボランティア室あり(書籍、パソコン、机、ロッカーなどを備えている)。

◇運営(シフト等)

- ・ 午前・午後、それぞれ1名が担当。

◇交流(情報、組織等)

- ・ 月1回、各曜日班のリーダーと執行部による定例リーダー会を開催(月ごとに開催曜日をずらしている)。
- ・ 年数回、全体会を開催(消防避難誘導訓練、プラネタリウム新番組試写会、館長との懇談会などを併せて実施し、出席を促している)。
- ・ 他館ボランティアとの交流会、忘年会を実施。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 毎年3～4月にかけて、主に構成市の広報紙の広報紙やチラシによって募集。人数は数名。
- ・ 資格:意欲のある18歳以上の方。
- ・ 面接にて選考し、職員による事前研修(2～3日間)終了後に登録。
- ・ 定年制なし。登録期間1年間(更新可)。

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 交通費、昼食代補助として、1人2,000円を支給。

◇評価

- ・ 貢献者の顕彰を行う。
- ・ 2004年度から、社会貢献を真剣に考える方が増えてきた。

◇課題と展望

- ・ 曜日ごとの活動から、目的別チーム制への移行を図り、活動の広がりや自主性、自律性の向上を図りたい。
- ・ 友の会との融合を果たし、館の支援組織としての独立性を高め、互いにパートナーとしての認識に立つこと。

◇その他

- ・

活動個別シート ④特別展・企画展の案内

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 60名(2004年)

◇活動内容

- ・ 企画展示の案内を行う。
- ・ 場内の監視、ワークショップ(年4~5回、数週間)の実施を行う。

◇活動日

- ・ 火曜日~日曜日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ 活動費として、年間約4,500千円を計上。
- ・ ボランティア室あり(書籍、パソコン、机、ロッカーなどを備えている)。

◇運営(シフト等)

- ・

◇交流(情報、組織等)

- ・ 月1回、各曜日班のリーダーと執行部による定例リーダー会を開催(月ごとに開催曜日をずらしている)。
- ・ 年数回、全体会を開催(消防避難誘導訓練、プラネタリウム新番組試写会、館長との懇談会などを併せて実施し、出席を促している)。
- ・ 他館ボランティアとの交流会、忘年会を実施。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 毎年3~4月にかけて、主に構成市の広報紙の広報紙やチラシによって募集。人数は数名。
- ・ 資格:意欲のある18歳以上の方。
- ・ 面接にて選考し、職員による事前研修(2~3日間)終了後に登録。
- ・ 定年制なし。登録期間1年間(更新可)。

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 交通費、昼食代補助として、1人2,000円を支給。

◇評価

- ・ 貢献者の顕彰を行う。
- ・ 2004年度から、社会貢献を真剣に考える方が増えてきた。

◇課題と展望

- ・ 曜日ごとの活動から、目的別チーム制への移行を図り、活動の広がり自主性、自律性の向上を図りたい。
- ・ 友の会との融合を果たし、館の支援組織としての独立性を高め、互いにパートナーとしての認識に立つこと。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤天体観望会の案内

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 60名(2004年)

◇活動内容

- ・ 天体観望会(年間4回実施)時に、案内・誘導・安全管理を行う。

◇活動日

- ・ 火曜日～日曜日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 活動費として、年間約4,500千円を計上。
- ・ ボランティア室あり(書籍、パソコン、机、ロッカーなどを備えている)。

◇運営(シフト 等)

- ・

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 月1回、各曜日班のリーダーと執行部による定例リーダー会を開催(月ごとに開催曜日をずらしている)。
- ・ 年数回、全体会を開催(消防避難誘導訓練、プラネタリウム新番組試写会、館長との懇談会などを併せて実施し、出席を促している)。
- ・ 他館ボランティアとの交流会、忘年会を実施。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年3～4月にかけて、主に構成市の広報紙の広報紙やチラシによって募集。人数は数名。
- ・ 資格:意欲のある18歳以上の方。
- ・ 面接にて選考し、職員による事前研修(2～3日間)終了後に登録。
- ・ 定年制なし。登録期間1年間(更新可)。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 交通費、昼食代補助として、1人2,000円を支給。

◇評価

- ・ 貢献者の顕彰を行う。
- ・ 2004年度から、社会貢献を真剣に考える方が増えてきた。

◇課題と展望

- ・ 曜日ごとの活動から、目的別チーム制への移行を図り、活動の広がり自主性、自律性の向上を図りたい。
- ・ 友の会との融合を果たし、館の支援組織としての独立性を高め、互いにパートナーとしての認識に立つこと。

◇その他

- ・

.....
館園名 : 東京国立博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1872 年 03 月 10 日

所在地

・ 〒 110 - 8712 東京都台東区上野公園 13 番 9 号

公式サイト

・ <http://www.tnm.jp/jp/servlet/Con?pageId=X00/processId=00>

設立主体

・ 独立行政法人国立博物館

運営主体

・ 独立行政法人国立博物館

設立目的

・ わが国の総合的な博物館として日本を中心に広く東洋諸地域にわたる文化財を収集・保管して公衆の観覧に供するとともに、これに関連する調査研究および教育普及事業等を行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存および活用を図る。

展示概要

・ 日本・中国・朝鮮半島・西アジア・東アジアを中心とした考古、彫刻、絵画、書、工芸などを幅広く収蔵・展示。

活動概要

・ 美術作品・考古資料など有形文化財の収蔵・保存・修理。国内外の（共同）研究。
・ テーマに基づいた平常展や特集・陳列・特別公開。研究成果に基づいた特別展の開催。海外の博物館と協力した海外展の開催など。
・ 児童・生徒向け講座やワークショップ、公開講座、ギャラリートークの実施。教員向けの特別展の説明・内見会・研修の実施。音楽会・落語会などの開催。民間企業への施設の貸し出し。ボランティア・インターンシップの実施。
・ 資料館にて資料の閲覧。展覧会図録、研究紀要、修理報告書の刊行。メールマガジンの発行。「TNMイメージアーカイブス」にて、デジタルデータの有料提供。茶室・講堂などの有料利用。ミュージアムショップ、レストランなど。友の会・パスポートなど。

延床面積

・ 67,113 m²（本館・東洋館・平成館・表慶館・法隆寺宝物館・資料館のみ）

全職員数（常勤職員）

・ 定員 127 名（ 年 月現在）

年間運営費

・ 2,427,044,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 113,851 点（ 2004 年 3 月現在）

施設その他

・ 本館（日本ギャラリー）・東洋館（アジアギャラリー）・平成館・表慶館・法隆寺宝物館・資料館など。

2. ボランティア活動 名称：東京国立博物館生涯学習ボランティア

活動目的・経緯

・来館者に対する生涯学習機会の増大と、サービスの向上を図るため、2002年よりボランティア活動を開始した。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 154 名（2004 年 4 月現在）
- ・ 男性： 43 名、女性： 111 名
- ・ 平均年齢 51 歳：男性 60 歳、女性 47 歳

ボランティア担当職員（2004年4月現在）

- ・ 部局名称： 事業部教育普及課ボランティア室
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ 非常勤 ） 2 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 館内案内・展示品解説。
- ・ 資料データの整理。
- ・ 親と子のギャラリーの運営補助。
- ・ 講演会などの補助。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ ボランティアによって企画される活動も計画されている。

関連する出版物

- ・ 特になし

関連するHP

- ・ <http://www.tnm.jp/jp/servlet/Con?pageId=X00/processId=00>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 特になし

活動個別シート① 活動名：生涯学習ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 154 名（ 2004 年 4 月現在）

◇活動内容

- ・ 館内案内・展示品解説。
- ・ 資料データの整理。
- ・ 親と子のギャラリーの運営補助。
- ・ 講演会などの補助。

◇活動日

- ・ 休館日を除くほぼ毎日

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動室があり、関連書籍・パソコンなどを備えている。

◇運営（シフト 等）

- ・ 月二回以上、希望する活動日（曜日は原則固定）に活動する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡係としての曜日リーダーと、自主企画リーダーがあり、メンバーに連絡をする。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年一月中旬ごろから、ホームページ上、館内に募集要項を配布して行う（50名）。
- ・ 資格は、18歳以上、月二回以上の活動、研修（四日間）の出席。
- ・ 選考方法は、作文と面接。任期は三年で更新はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（職員による講座）。
- ・ 特別展開催時に、職員による解説会。
- ・ その他必要に応じて行う場合もある。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に全員加入（費用は館が負担）。

◇評価

- ・ 任期終了時に修了証を発行。

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 東京大学総合研究博物館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・1996年05月11日

所在地

・〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

公式サイト

・<http://www.um.u-tokyo.ac.jp>

設立主体

・東京大学

運営主体

・東京大学総合研究博物館

設立目的

- ・学術標本を総合的に調査・収集・整理及び保存すること。
学術標本を展示公開すること。
- 学術標本の有効利用と展示公開に関する調査を行い、その成果を普及すること。

展示概要

- ・年に数回、特別展、企画展を開催している。
2004年度実績
「プロパガンダ 1904-1945—新聞紙・新聞誌・新聞史」展、「デジタルとミュージアム」展、「Systema naturae 標本は語る」展、「メディアとしての建築展」 等。

活動概要

・

延床面積

・8,759 m²

全職員数 (常勤職員)

・17名 (2005年1月現在)

年間運営費

・ 円 (2003年度)

総資料点数

・2,400,000 点 (2004年4月現在)

施設その他

・東京大学総合研究博物館小石川分館

2. ボランティア活動 名称：東京大学総合研究博物館ボランティアの会
東京大学総合研究博物館小石川分館 小石川組

活動目的・経緯

- ・ 東京大学総合研究博物館ボランティアの会
目的 東京大学総合研究博物館の事業活動に参加し、これを支援するとともに会員相互の理解と親睦を深め合うことを目的とする。ただし、会員の課都度は、自発的なボランティア活動によるものとする。
- ・ 東京大学総合研究博物館小石川分館 小石川組
目的 東京大学総合研究博物館小石川分館が企画する学術標本等の公開展示活動を実施するに当たり、来館者に受付案内・展示解説（補助）等の活動をおこなう。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 56名（ 年 月現在）
- ・ 男性：16名、女性：40名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：博物館情報係
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ）名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説・資料整理等など。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 学生のみによるボランティア団体。（小石川組）

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：①展示解説（東京大学総合研究博物館ボランティアの会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年 不明

◇活動人数

- ・ 36名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・ 展示解説等。

◇活動日

- ・ 特別展示開催時の火曜日～日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 備品等は博物館のものを使用する。ボランティアのための座席を2席用意。

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティアの会の自主的運営。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年に1度の総会、新年会、年に2度の博物館教員による講演会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 現在募集は行っていない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 新しい展示が始まる際に、展示に関する講演会を開き、展示解説ボランティアのための研修とする。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費のみ支給。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ なし。

◇その他

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：②展示解説（総合研究博物館小石川分館 小石川組）

◇活動開始年（西暦）

- ・2003年

◇活動人数

- ・20名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・展示解説、標本整理など。

◇活動日

- ・土・日曜日、祝日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・備品等は博物館のものを使用する。

◇運営（シフト 等）

- ・小石川分館小石川組の自主的運営による。

◇交流（情報、組織 等）

- ・公式のものはない。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・毎年2回。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・不定期に教員による展示品解説などを行なう。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・なし。

◇評価

- ・なし。

◇課題と展望

- ・なし。

◇その他

- ・なし。

.....

館園名 : 東京都井の頭自然文化園

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1942年05月17日

所在地

- ・ 〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-17-6

公式サイト

- ・ <http://kensetsu.metro.tokyo.jp/zoo/>

設立主体

- ・ 東京都

運営主体

- ・ 東京都

設立目的

- ・ 動植物などの自然生態・観察とともに彫刻など芸術文化の鑑賞もできる総合的博物館として、また木々の緑と四季の花々、そして池の水に恵まれた憩いの場として皆様に楽しんでいただくことを目的とする。

展示概要

- ・ 「本園」：動物園・植物園・熱帯鳥温室・彫刻園・童心居・資料館・遊園地。
- ・ 「分園」：水生物園・水鳥舎など。

活動概要

- ・ モルモットやコールダックとのふれあいコーナーや、アジアゾウの“はな子”、アライグマ、マウラ、フェネックなどの動物がいて、小学低学年～幼児の来園者に楽しんでもらっている。
- ・ 定期的なクラフト教室、紙芝居と手品、彫刻園ガイドなど様々なイベントの開催。

延床面積

- ・ 115,500 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 26名（2004年4月現在）

年間運営費

- ・ 円（2003年度）

総資料点数

- ・ 飼育動物数 199種 4,986点
- ・ 彫刻・絵画等 1,000点余
- ・ 樹木 約2,000点 その他（2004年10月現在）

施設その他

- ・ 指定管理者制度などの導入が検討されていて、運営等の見直しが行われている。

2. ボランティア活動 名称：東京ズーボランティア・井の頭サービスガイドグループ

活動目的・経緯

- ・ 発足当時は高齢者の生きがいつくりのため、社会福祉センター事業としての位置付けとしていた（発足時は、シルバーガイドと称した）。その後、公園・動物園へ活動の場を移し、現在に至る。主な活動目的は、来園者に対する案内、催事応援などである。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 81名（2005年1月現在）
- ・ 男性：47名、女性：34名
- ・ 平均年齢64歳：男性71歳、女性57歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：普及事業係
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（嘱託職員）2名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ① 園利用者への案内。
- ② 催事応援。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 休園日（月曜）を除く、火曜から土曜までの5つの曜日毎の班編成としており、日曜日の活動は5班で交替制をとっている。
- ・ 各班に班長、副班長1名ずつと、全体で1名のリーダーを設置している。
- ・ 月に1度、園とボランティアの班長、副班長で役員会を実施している。
- ・ 年に1度総会を開催。

関連する出版物

- ・ ボランティアの交流誌「雑木林」を発行。

関連するHP

- ・ <http://kensetsu.metro.tokyo/jp/zoo/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：①園利用者への案内

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1989年

◇活動人数

- ・ 81名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・ 休園日（月曜）を除く、10:00～15:00までの間、モルモットのふれあいコーナー、リスの小径（リス放飼場）で来園者への案内活動を行っている。

◇活動日

- ・ 所属する班の活動日（曜日ごとに班編成）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 控室と日常備品。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各班毎に、モルモットコーナーに5～8人、リスの小径、2～3人、案内活動を実施。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 各班の代表による役員会、月1回。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年間1回、春に募集。任期1年単位。広報東京都、ホームページなどに掲載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修、年2～3回程度。
- ・ 自主研修、年1回程度。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険料の補助。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 若い年齢層の継続率が低い。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②催事応援

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1989年

◇活動人数

- ・ 81名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・ 土・日・祝日などの来園者が多い日に、クラフト教室、紙芝居、手品、折り紙教室など、様々な催事に携わっていただいている。モルモットコーナー、リスの小径など、必須の活動があるため、数人単位で実施している。

◇活動日

- ・ 土・日・祝日が多い。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 材料の購入費などの少額補助。

◇運営（シフト 等）

- ・ 2～5人程度で、午後1時～2時30分頃まで。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 各班の代表による役員会、月1回。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年間1回、春に募集。任期1年単位。広報東京都、ホームページなどに掲載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修、年2～3回程度。
- ・ 自主研修、年1回程度。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険料の補助。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 若い年齢層の継続率が低い。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 東京都江戸東京博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1993年03月28日

所在地

- ・ 〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1

公式サイト

- ・ <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

設立主体

- ・ 東京都

運営主体

- ・ (財)東京都歴史文化財団

設立目的

- ・ 江戸東京の失われていく文化遺産を次代に継承するとともに、東京の歴史と文化を振り返ることによって、これからの東京の都市と生活を考える場として設立。

展示概要

- ・ 江戸東京に関する浮世絵、屏風、絵図、装束類、調度品、古文書、版本など美術工芸品資料から、生活民俗資料、歴史資料にいたるまで広範な資料を収集。
- ・ 常設展示では、実物資料や複製資料のほか、日本橋など55点の大型模型を展示。
- ・ テーマによっては、映像・音響も加え、視覚障害者のための“手でみる展示”を設置。

活動概要

- ・ 企画展、講演会、催し物を開催。
- ・ ホール、学習室などの施設を開放。
- ・ ボランティアが、外国人来館者に対する常設展示案内、団体来館者への事前案内を行っている。

延床面積

- ・ 48,513 m²

全職員数

- ・ 60名(本館のみ)

年間運営費

- ・ 2,550,000千円(2004年度)

総資料点数

- ・ 349,000点(2002年)(図書映像資料も含む)

その他

- ・ 図書室、映像ホール、映像ライブラリーも備えている。

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 1997年10月、展示ガイドボランティア活動開始（試行）。
- ・ 1998年8月から、本格的に実施。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 218名（2004年）
- ・ 男性： 58名、女性： 160名（2004年）
- ・ 平均年齢 51.5歳：男性 62.3歳、女性 47.6歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課展示営業係 担当人数：常勤2名・その他（事務局）2名

活動の種類

- ・ ①展示ガイドボランティア、②博学連携ボランティア、③ふれあい体験スタッフ。

活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ 資格：18歳以上。
- ・ 書類選考後、面接を実施。
- ・ 定年制なし。
- ・ 任期1年。更新手続きにより継続可。
- ・ 養成研修：館が主催、8回（館の概要、ボランティア論、マナーなど）。
- ・ その他に、館が、車椅子取り扱い、人権についてなど、年3～4回研修を行う。
- ・ その他、ボランティアが自主的に進める勉強会がある。
- ・ 保険に加入。
- ・ ボランティア各人の認識に差があり、組織のあり方、学芸員との交流のあり方の方向性が見出せない。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示ガイドボランティア

◇活動開始年

- ・ 1997年10月、活動開始（試行）。
- ・ 1998年8月から、本格的に実施。

◇活動人数

- ・ 218名（2004年）

◇活動内容

- ・ ツアーガイド（日本語・英語など計8言語）。
- ・ 事前案内。
- ・ スポットガイド
- ・ 下見案内
- ・ こども学習相談

◇活動日

- ・ 毎日活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティアルームあり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各曜日に所属し、月2回以上の活動をする。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月1回（毎月第3金曜日）、展示ボランティア幹事会を開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 5～6月頃、定期公募。
- ・ 定期的に一般公募。
- ・ 外国語対応の方には、語学能力を問う。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 養成研修、計7回（館の概要、ボランティア論、展示概説、マナー等）。
- ・ 年数回、専門研修を開催（歴史、語学、人権等）。
- ・ ボランティア主体の自主研修も随時開催。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 常設展示図録（1冊）を支給。
- ・ 常設展示観覧招待券10枚・各企画展招待券4枚、支給。
- ・ ミュージアムショップ・レストランでの割引。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②博学連携ボランティア

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 9 名 (2004 年) (全員、①を兼任)

◇活動内容

- ・ 小中学校のグループによる訪問学習 (歴史学習の対応)。
- ・ 常設展示 (江戸東京の歴史や文化の学習) に関連したテーマ学習の支援。

◇活動日

- ・ 小中学校からの訪問学習 (歴史学習) のオファーに対応。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 原則として、1 人月 2 回以上活動する。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月 1 回 (毎月第 4 木曜日)、博学連携ボランティアミーティングを開催。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 不定期に公募。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 養成研修を開催。
- ・ 年数回、専門研修を開催 (歴史、語学、人権等)。
- ・ ボランティア主体の自主研修も随時開催。

・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 常設展示図録 (1 冊) を支給。
- ・ 常設展示観覧招待券 10 枚・各企画展招待券 4 枚、支給。
- ・ ミュージアムショップ・レストランでの割引。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート ③ふれあい体験スタッフ

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 40 名 (2004 年) (①と兼任)

◇活動内容

- ・ 館における教育普及事業の準備や、実施に関わる活動。
- ・ 各種ふれあい体験教室の開催。

◇活動日

- ・ グループ (藍染め・昔遊び・歴史散歩等、計 5 グループ 8 班) に分かれて活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月 1 回 (毎月第 4 土曜日)、月例会を開催。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 不定期に公募。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 養成研修を開催。
- ・ 専門研修を開催。
- ・ 各グループ主催による自主研修 (藍染め・江戸切子等) を開催。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 常設展示図録 (1 冊) を支給。
- ・ 常設展示観覧招待券 10 枚・各企画展招待券 4 枚、支給。
- ・ ミュージアムショップ・レストランでの割引。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 東京都江戸東京博物館分館江戸東京たてもの園

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1993年03月28日

所在地

- ・ 〒184-0005 東京都小金井市桜町3-7-1 都立小金井公園内

公式サイト

- ・ <http://www.tatemonoen.jp>

設立主体

- ・ 東京都（所管：生活文化局）

運営主体

- ・ 東京都歴史文化財団

設立目的

- ・ 江戸東京の歴史的・文化的価値のある建物を移築・復元・展示し、貴重な文化遺産として次代に継承することを目的として設置。

展示概要

- ・ 高橋是清邸、旧自証院霊屋など、江戸時代から昭和初期に建てられた、都内に残る貴重な建物を復元・展示（現在27棟）。
- ・ 展示室では、武蔵野郷土館から引き継いだ考古・民俗資料等を展示。

活動概要

- ・ 七夕折り紙教室、縄文土器づくり、正月お飾り作りなどのワークショップ、たてもの園セミナー、ミュージアム・トーク、大道芸、伝統工芸の実演などを開催。
- ・ 江戸東京たてもの園だより（年2回）、江戸東京たてもの園ガイドブックなどを出版。

延床面積

- ・ 70,832.69㎡（敷地面積）

全職員数

- ・ 9名

年間運営費

・

総資料点数

- ・ 復元建造物27棟、屋外展示物29点、旧武蔵野郷土館資料30,401点。

その他

・

2. ボランティア活動 名称：ひじろ会

活動目的・経緯

- ・ 1996年12月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 181名（2004年）
- ・ 男性：104名、女性：77名（2004年）
- ・ 平均年齢62歳：男性66歳、女性58歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸係 担当人数：常勤1名・その他（臨時職員）2名

活動の種類

- ・ ①茅葺農家での演示、②ガイド、③催事の企画運営、④自主活動、⑤臨時ボランティア。

活動その他

- ・ 4～9月：9：45～17：00
- ・ 10月～3月：9：45～16：00
- ・ 両者の共同組織により運営。
- ・ 役員会（会長・副会長・会計・各班役員）で、園と連絡調整。
- ・ 例会で、報告・意見交換を行う。
- ・ 各曜日班で、活動日ごとに燻煙・ガイド・自主活動等を分担して活動を行っている。
- ・ 月1回、役員会、例会を開催。
- ・ 毎年1回、新規に公募。
- ・ 資格：18歳以上。
- ・ 定年制なし。年度ごとに更新手続きを行う。
- ・ 登録研修、3回：園の概要など。
- ・ 勉強会、月1回：江戸の歴史、ボランティア活動についてなど。
- ・ 見学会、年1回：他の博物館ボランティア活動の視察。
- ・ その他、任意に研修、勉強会を実施。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 近年、催事の企画立案からボランティアが参画し、園との協働が深まっている。サポーターからパートナーへ関係が発展しつつある。

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・

館外組織（NPO等）との連携

- ・ たてもの園協力会（小金井市商工会とたてもの園が共同出資した任意団体。飲食、物販サービスを実施。）に協力している。

活動個別シート ①茅葺農家での演示

◇活動開始年

- ・ 1996 年

◇活動人数

- ・ 181 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 茅葺農家で囲炉裏の火を焚く。

◇活動日

- ・ 火曜日から日曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 備品・消耗品を提供。
- ・ ボランティア控え室あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 曜日別に 6 班を編成。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア「ひじろ会」を開催。
- ・ 月 1 回役員会、例会を開催。
- ・ 月 1 回、会報「ひじろ」を発行。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 1 回募集。
- ・ 書類選考の上、説明会・講習会を経て、登録。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 登録講習で基本を説明。
- ・ 各班で実地のトレーニングを行う。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費として、往復 1,000 円まで支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 各曜日班で、活動日ごとに燻煙・ガイド・自主活動等その日の役割分担をして活動を行っている。

活動個別シート ②ガイド

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 181 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 団体ガイド、スポットガイド、戸別ガイド、定時ガイドを行う。

◇活動日

- ・ 火曜日から日曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 備品・消耗品を提供。
- ・ ボランティア控え室あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 曜日別に 6 班を編成。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア「ひじろ会」を開催。
- ・ 月 1 回役員会、例会を開催。
- ・ 月 1 回、会報「ひじろ」を発行。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 1 回募集。
- ・ 書類選考の上、説明会・講習会を経て、登録。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティアにより、企画実施。園が支援する。
- ・ 勉強会 (年 10 回程度)、見学会 (年 3 回程度) を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費として、往復 1,000 円まで支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 各建物ごとにサークルを作り、知識や技能を蓄積していきたい。

◇その他

- ・ 各曜日班で、活動日ごとに燻煙・ガイド・自主活動等その日の役割分担をして活動を行っている。

活動個別シート ③催事の企画運営

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 181 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 催事の企画立案、支援。

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 備品・消耗品を提供。
- ・ ボランティア控え室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ イベントごとに実行委員を選出し、事前に実行委員会を開催。園と調整を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア「ひじろ会」を開催。
- ・ 月 1 回、役員会、例会を開催。
- ・ 月 1 回、会報紙「ひじろ」を発行。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 1 回募集。
- ・ 書類選考の上、説明会・講習会を経て、登録。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 勉強会（年 10 回程度）、見学会（年 3 回程度）を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費として、往復 1,000 円まで支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 「情景再現」として、調査研究に基づいた企画内容を重視したい。

◇その他

・

活動個別シート ④自主活動

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 約 110 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 自主活動（サークル的活動）を行う（藁細工、桜湯、農園耕作、野草、盆栽・鉢物、プレスレット作り、風車作り、折り紙教室、どんぐり細工、写真スタジオ、昔語り、花壇、スケッチ同好会、似顔絵、紙芝居、お手玉遊び、茶道、桜花染め、織物）。

◇活動日

- ・ 火曜日から日曜日まで。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 「ボランティア自主活動実施計画書」で、必要品、経費を記入。
- ・ ボランティア控え室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 活動に応じて、賛同者が協力。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア「ひじろ会」を開催。
- ・ 月 1 回、役員会、例会を開催。
- ・ 月 1 回、会報紙「ひじろ」を発行。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 1 回募集。
- ・ 書類選考の上、説明会・講習会を経て、登録。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ グループ内で、実地トレーニングを行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費として、往復 1,000 円まで支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 各曜日班で、活動日ごとに燻煙・ガイド・自主活動等その日の役割分担をして活動を行っている。

活動個別シート ⑤臨時ボランティア

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 67 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 催事の活動補助。
- ・ 土日班ボランティアの活動（囲炉裏で火を焚く、自主活動等）の補助。

◇活動日

- ・ 各種催事時、土日祝日等、繁忙期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 名札・腕章あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ イベントごとに、活動可能日を指定し、参加。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 学芸員実習生に告知。
- ・ 企画展ポスター等で告知。
- ・ 条件：園の事業に関心を持つ 18 歳以上の人。保護者の許可を得た中学生・高校生。
- ・ 資格審査はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 登録時の事前研修はなし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 東京都美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1926年05月01日

所在地

・〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

公式サイト

・<http://www.tonikan.jp>

設立主体

・東京都

運営主体

・(財) 東京都歴史文化財団

設立目的

・都民の美術鑑賞の場、社会教育の場、憩いの場として設立。

展示概要

・美術団体の公募展。
・新聞社やテレビ局などの共催による企画展。

活動概要

・公募団体等への貸館事業、報道機関との共催による企画展の開催、記念講演会などの美術普及活動、アトリエ・講堂の貸出し、美術図書室の一般公開。

延床面積

・31,983.98 m²

全職員数（常勤職員）

・15名（H17年1月現在）

年間運営費

・582,233千円（2003年度）

総資料点数

・立体作品13点（H17年1月現在）

施設その他

・公募展示室、企画展示室、講堂、アトリエ、会議室、美術図書室、レストラン、ミュージアムショップ、画材店。

・平成6年4月1日付で他の収蔵作品3,020点は東京都現代美術館に移管。

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

・平成11年にNPO、エイブル・アート・ジャパンと障害者の方たちの作品を展示する展覧会を共催した際、生活の中にもっとアートを取り入れていただく機会、ゆっくりと芸術を鑑賞していただける機会は設けられないかという話が持ち上がったのがきっかけ。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 約25名（H17年1月現在）
 - ・ 男性： 名、女性： 名
 - ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳
- 各回ごとに異なる。

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 障害者特別鑑会のサポート。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ ボランティアの取りまとめはNPO・エイブル・アート・ジャパンに一任している。

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・1999年

◇活動人数

- ・約25名（H17年1月現在）

◇活動内容

- ・共催展ごとに1回開催される障害者特別鑑賞会のサポート。

◇活動日

- ・年4回開催される共催展で各1日、計4日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・事前勉強会、当日開催前ミーティング、終了後反省会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・NPO、エイブル・アート・ジャパンによる。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・NPO、エイブル・アート・ジャパンによる。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費全額、昼食費一部支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・将来、館独自でボランティア活動の実施、ボランティアの育成に関われるようにする。

◇その他

- ・

.....
館園名 : 東京農工大学工学部附属繊維博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1886年 月 日
- ・ 1886年、東京農工大学工学部の前身である農商務省農務局蚕病試験場の「参考品陳列室」として創立。
- ・ 東京農工大学工学部発足後の1952年、博物館相当施設に指定。
- ・ 1977年、東京農工大学工学部附属繊維博物館として制度化。

所在地

- ・ 〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

公式サイト

- ・ <http://www.tuat.ac.jp/~museum/>

設立主体

- ・ 国立大学法人 東京農工大学

運営主体

- ・ 国立大学法人 東京農工大学

設立目的

- ・ 繊維及びその関連材料に関する標本・模型・文献の収集、保管、展示を行うことにより、関連分野の教育研究並びに社会教育に貢献する。

展示概要

- ・ 養蚕・製糸関係の資料を中心に、繊維に関連する教育的価値のある資料を多数所蔵。

活動概要

- ・ 市民参加の手紡ぎ・手織り・藍染めなどのサークル活動、子供科学教室など、地域社会に開かれた活動を実施。

延床面積

- ・ 約3,000㎡

全職員数（常勤職員）

- ・ 4名（ 年 月現在）

年間運営費

- ・ 円（2003年度）

総資料点数

- ・ 約14,000点（ 年 月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：繊維技術研究会

活動目的・経緯

- ・ 繊維技術の伝承・研究・開発を目的として、本博物館の展示、啓蒙活動を支援する。また、繊維技術の発展に寄与するための情報交流を行う。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 18名（2004年04月01日現在）
- ・ 男性：18名、女性：0名（2004年）
- ・ 平均年齢 64歳：男性 64歳、女性 歳（2004年）

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：工学部
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①研究活動サークルの指導。
- ・ ②講演会の実施。
- ・ ③繊維機械の整備・保守・及び動態展示を行う。
- ・ ④来館者に対し、説明及び、一般市民・研究者への助言・指導を行う。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート ①研究活動サークルの指導

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 18名（2004年 月現在）

◇活動内容

- ・ 友の会の会員で構成される繊維に関連した12の研究活動サークルの指導。
- ・ 講演会の実施。
- ・ 繊維機械の整備・保守及び動態展示を行う。
- ・ 来館者への説明及び一般市民・研究者への助言・指導を行なう。

◇活動日

- ・ 毎週、または隔週1～2回活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室（控室兼会議室）。

◇運営（シフト 等）

- ・ 月1回程度会員が集まり打合わせを行うようにしている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ HPで常時募集している。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 原則なし。

◇評価

- ・ 5年に1回程度評価し、優秀者は表彰する。

◇課題と展望

- ・ 後継者を探す（募集）＝新入会員を確保するのがむずかしい。

◇その他

- ・ メンバーは、本学卒業生が多い。

館園名 : 独立行政法人国立科学博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1877年創立。1931年、上野公園内の現在地に移転。1949年、現在の国立科学博物館の名称となる。
- ・ 2001年4月、行政改革の一環により、独立行政法人国立科学博物館となる。

所在地

- ・ 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

公式サイト

- ・ <http://www.kahaku.go.jp>

設立主体

・

運営主体

・

設立目的

- ・ 我が国唯一の国立の科学博物館。動物・植物・地学・人類・理工に関する資料を収集・保管・調査研究し、展示および教育・普及活動を行っている。

展示概要

- ・ 本館は、改装中。
- ・ 屋外展示 : (表玄関) シロナガスクジラの実物大復元標本、D51形蒸気機関車。
- ・ 新館地下2・3階 : 特別展示室。
- ・ 地下1階 : 「水惑星地球」「誕生と絶滅の不思議:恐竜」。
- ・ 1階 : 「生物の多様性:海洋生物」。
- ・ 2階 : 「たんけん広場:身近な科学」。音、光、力、運動、電気、磁気など、私たちの身のまわりで起こっている物理現象を体感し、実験することができる。発電機、ヘリコプター、ディスプレイ装置などが操作体験できる。また「探究コーナー」では、様々な実験、観察、工作活動が楽しめる。
- ・ 3階 : 「たんけん広場:発見の森」。雑木林や地層のジオラマを中心とした参加体験型展示。高い樹木が立ち並び、森の中にいる雰囲気を楽しむことができる。自然の不思議さを発見し、自然観察の楽しさを体験できるように、直接ふれることができる実物資料が配置されている。また、標本類を収納した数十個の「森の標本箱」があり、これを取り出して観察することができる。

活動概要

- ・ 教育普及活動 : 自然観察会、こどもの自然教室、高校生のための研究体験講座、自然史セミナー、天文学普及講演、夜の天体観望公開、楽しい化学の実験室、高校生のための化学実験講座、化学実験講座、親と子の都市と建築講座、自然の不思議-物理教室-、博物館理工講座、科学史学校、産業技術史講座、かはく・たんけん教室、こどもの土曜教室、かはくたんけんクラブ、上野の山ミュージアムクラブ、どこでもミュージアム・エコ。
- ・ 研修事業 : 学芸員専門研修アドバンスト・コース (対象:自然科学系博物館等の中堅学芸

員)、ミュージアム・マネジメント研修(対象:自然科学系博物館等の管理系職員)、理科担当教員研修(理科担当教員、教育委員会等の理科担当指導系職員)、体験学習普及講座(対象:教員、学芸員等の科学教育指導者)。

- ・ 教育用標本貸し出し事業。
- ・ 国立科学博物館概要(年1回)、国立科学博物館年報(年1回)、Bulletin of the National Science Museum(国立科学博物館研究報告)などを刊行。
- ・ 1967年度から日本列島の自然史科学的総合研究を行っている。
- ・ ティーチーズセンター :新館3階。団体見学の事前相談や教員研修等の受け入れを行う。

延床面積

- ・ 32,811 m² (上野本館のみ)

全職員数

- ・ 147人(常勤)

年間運営費

- ・ 3,313,801千円(2003年度)

総資料点数

- ・ 3,332,700点(2002年度)

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：教育ボランティア（上野本館）

活動目的・経緯

- ・ 1986年1月、我が国で初めて教育ボランティア制度を導入。参加体験型展示「たんけん館」の設置に当たり、利用者とできるだけきめ細やかにコミュニケーションを図るため、職員とともにこれに協力してくれる人、職員とは異なる柔軟な発想や意見をもち提案してくれる人、利用者と職員との間の橋渡しの存在になる人を、ボランティアに期待した。また、人々の学習ニーズの多様化、高度化に対し、博物館を生涯学習の場として提供していくことも目指した。
- ・ 1989年、メンバーの希望と館長の発案が一致し、「見学相談コーナー」が開設される。大幅な募集をかける。
- ・ 1989年教育ボランティア専門官、1994年教育ボランティア活動推進室が設置され、ボランティアケアの体制が整う。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 222名（2004年）
- ・ 男性：84名、女性：138名（2004年）
- ・ 平均年齢59.1歳：男性65.2歳、女性55.1歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学習推進部ボランティア活動推進室
担当人数：常勤2名・その他（非常勤）1名

活動の種類

- ・ ①たんけん広場における見学学習への指導助言、②探求コーナーにおける指導助言、③案内所における入館者への案内、④ティーチャーズセンターにおける学校等団体見学の相談、⑤ガイドツアーによる見学者への展示案内、⑥障害者の見学に対する援助活動、⑦週末等に行う教育普及活動の補助、⑧教育ボランティア土曜特別企画における企画・運営、⑨サイエンススクエアにおける青少年への指導、⑩特別展等における参加体験型展示などの見学者への案内・説明。

活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ 曜日ごとに登録し、毎週同一曜日に活動（2004年度より、土・日・祝日・夏休み等に年間15日以上不定期に活動する「ホリデーボランティア」を導入した）。
- ・ 新館案内所、たんけん広場、探究コーナー、読書・情報室、ティーチャーズセンター、新館各館ディスカバリーポケットなど、館内11箇所に、1日平均約30人が配置される。
- ・ 人気の場所に特定の人偏らないように、1ヶ月交代のローテーションを、ボランティア活動推進室が組む。
- ・ 機関誌「教育ボランティア通信」、1～2ヶ月に1度発行。
- ・ コミュニケーション誌「上野の森」、年2回発行。
- ・ 1～2ヶ月に1回、運営委員会、連絡会を実施。
- ・ 館ニュースや一般の新聞で広報。
- ・ 補充が必要な曜日等について、一般公募。
- ・ 書類選考・面接後、登録前研修を行い、研修後、最終的に適任者を登録採用する。
- ・ 年度ごとに登録更新。
- ・ 定年制、任期制なし。

- 登録前研修 : 館の目的、予算、施設設備、運営等の概要、分野別研究活動の内容と関連展示の説明、ボランティアの役割、接遇の基本、教育普及活動の内容、方法など。
 - 登録者研修 : 発達段階に対応した指導のあり方、専門分野の知識等についての研修（年2～3回、1回1週間～10日）。
 - 交通費を実費で支給。1日6時間以上活動の際、昼食代500円を支給。
 - その他、ボランティア相互で実施。
 - ボランティア保険に加入。
 - 生涯学習社会におけるボランティア活動のあり方として、1つの方向を示すことができた。
 - ボランティアとしての責任ある行動をいかに認識させていくか。頼りがいのある本物のボランティアをいかに育成していくか。
 - その他、ボランティア活動に対する評価の内容、方法、ボランティアリーダーの養成とその役割、活動分野の開発などの課題がある。
 - 活動日数の極端に少ない者に対しては、活動の意思を本人に確認の上、活動を辞退していただく場合もある。
-
- なお、本館とは異なるが、筑波実験植物園では、植物園活動の一層の充実を図るため2002年より植物園ボランティア制度を発足させている（当初23名）。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

.....

館園名 : 独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1952年12月01日

所在地

- ・ 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1

公式サイト

- ・ <http://www.momat.go.jp/>

設立主体

・

運営主体

・

設立目的

- ・ 中央区京橋の旧日活本社の土地建物を購入し、文部省所轄の機関として設置。1969年、現在の地に新館開館。

展示概要

- ・ 1907年、日本で最初の官設の公募美術展、文部省美術展覧会から今日までの、約100年間の日本と海外の美術作品を、各分野にわたり約9,000点収蔵。
- ・ 年間5~6回企画展示を開催し、所蔵品展示は年間を通して行っている。

活動概要

- ・ 隔月発行のニュース「現代の眼」、展覧会カタログ、研究紀要、所蔵品目録などを刊行。
- ・ ミュージアムショップでは、各種ミュージアムグッズと美術書籍を販売。

延床面積

- ・ 17,192 m²

全職員数

- ・ 33名

年間運営費

- ・ 1,532,843千円(2003年度)

総資料点数

- ・ 約9,000点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：MOMATガイドスタッフ

活動目的・経緯

- ・ 2003年5月、来館者と館を結ぶ架け橋の役割を担って頂くことを目的に活動開始。
2002年リニューアルを契機に、所蔵作品展の充実を目指す方針。
社会や文化庁の要請に呼応、来館者と美術館を結ぶ架け橋の役割を任っていただく。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 20名（2004年）
- ・ 男性：6名、女性：14名（2004年）
- ・ 平均年齢45歳：男性49歳、女性43歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：企画課教育普及係 担当人数：常勤1名・その他（非常勤研究補佐員） 1名

活動の種類

- ・ ①ギャラリートーク。

活動その他

- ・ 年5回の展示替えごとに例会。例会は学芸員による展示替えポイントのレクチャー、ガイドスタッフ。
- ・ 会期ごと2名の世話人を立て、例会準備や活動日のスケジュールリングを担当する。

関連する出版物

- ・ 「DOME」(Vol. 71、2003年)に活動紹介。
- ・ 「博物館研究」(Vol. 38 No.11、2003年)に、活動開始までの経緯を紹介。

関連するHP

- ・

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①ギャラリートーク

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 20 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 所蔵品ギャラリーでの約 1 時間の対話式ギャラリートーク。参加者とともに、所蔵作品を鑑賞しながら、作品への理解を深められるよう手伝う。
- ・ 有志が、年 2 回の「こども美術展」での子ども向けトークも行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。
- ・ イベント時には、集中的に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティアルームあり。パソコン、プリンター、ビデオデッキ、関連図書を整備。

◇運営（シフト 等）

- ・ 館により運営。
- ・ 会期ごとに 2 名の世話人を立て、例会準備や活動日のスケジューリングを担当する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 5 回の展示替えごとに例会を実施。
- ・ 年 2 回、研修会を実施。
- ・ メーリングリストを運営。
- ・ 日誌を記入。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 更新者が少ないなど、補充の必要のある場合には、公募。
- ・ 定年制なし。
- ・ 任期 2 年。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 2 回の館主催の研修以外に、自主勉強会を開催。
- ・ 年 5 回の例会時に、学芸員が展示替えのポイントを紹介。
- ・ 解説作品の選定、調査、トークプランなどの準備は、ガイドスタッフ自身が行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 1 回のガイドトークにつき、活動費 1,000 円を支給。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 参加者から、「楽しかった」、「よく分かった」、「また参加したい」と好評を得ている。

◇課題と展望

- ・

◇その他

.....

館園名 : 都立第五福竜丸展示館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1976年6月10日

所在地

・〒136-0081 東京都江東区夢の島3-2

公式サイト

・<http://d5f.org>

設立主体

・東京都

運営主体

・財団法人第五福竜丸平和協会

設立目的

・遠洋漁業に出ていた木造漁船を実物により伝えると共に、原水爆による参加が再び起こらないことを願い設立された。

展示概要

・「第五福竜丸船体実物」（約30m、高さ15m、幅6m）

・いかり、はえなわ漁具、無線機、航海日誌、船員の日用品、福竜丸事件、マーシャル諸島核被害、核実験年表などの展示解説パネルなど。

活動概要

・事件の概要や歴史を知らせるガイド活動、夏休み小中学生教室。

・企画特別展の開催、出版物発行など。

延床面積

・802.5 m²

全職員数（常勤職員）

・3名（2004年12月現在）

年間運営費

・約2000万円（2003年度）

総資料点数

・3150点（2004年12月現在）

施設その他

・展示館前広場に第五福竜丸エンジン展示、久保山愛吉記念碑、マグロ塚記念碑。

2. ボランティア活動 名称：第五福竜丸ボランティアの会

活動目的・経緯

- ・2001年4月創立、展示館来訪者へのガイド、説明と資料整理。
「第五福竜丸を知らない世代に伝えたい」「薄れゆく記憶をよみがえらせたい」をコンセプトに来館する小・中・高校にほぼ100%説明している。
高齢者団体見学にも7～8割説明している。
他、学習研修会、夏休み教室なども開いている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・18名（2004年12月現在）
- ・男性：11名、女性：7名
- ・平均年齢61歳：男性64歳、女性56歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・部局名称：
- ・担当人数：常勤職員1名・その他（非常勤）1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・来館団体ガイド、説明。
- ・夏休み子ども教室開催。
- ・収蔵資料整理。
- ・新聞切抜等資料整理。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ボランティアの会の学習会2ヶ月に1回開催。
- ・研修旅行年1回（ビキニ事件や平和博物館活動に関連するところを訪問）

関連する出版物

- ・第五福竜丸ものがたり（パンフレット）
- ・写真でたどる第五福竜丸（図録）

関連するHP

- ・<http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・平和博物館市民ネットワークに個人参加。

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 18 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ ガイド。説明（展示館からのお話、通常 20 分）ただし、依頼によっては 1 時館の授業も行う。
- ・ 資料整理。
- ・ 夏休み教室の企画・準備など。（前ページ参照）

◇活動日

- ・ 休館日（日曜）を除く毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 江東区より若干の助成金、平和協会からも活動補助金、学習文献。

◇運営（シフト 等）

- ・ 毎日 2 名のガイドが館受付にて対応。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 2 ヶ月に 1 回の学習会の折に意見交換・情報交換。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 江東区、ボランティア公募とボランティアメンバーによる推薦。不定期。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 館学芸員によるビキニ事件、第五福竜丸、核被害などのレクチャー、学習資料の自習。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費のみ実費支給、保険は江東区がボランティア保険加入補助で区が窓口になり加入。

◇評価

- ・ 館の活力をきわめて豊かにしている。多くの市民とコミュニケーション実現。

◇課題と展望

- ・ 高齢者ボランティアに依拠しているので活動期間がそれほど長くない。
- 新たなメンバーの組織と補充が課題。若いボランティア（高校生、大学生）の活力作りが課題。

◇その他

- ・

.....
館園名 : 日本科学未来館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2001 年 07 月 01 日

所在地

・ 〒135-0064 東京都江東区青海 2-41

公式サイト

・ <http://www.miraikan-jst.go.jp/>

設立主体

・ 文部科学省

運営主体

・ 科学技術振興機構

設立目的

・ 日本の科学技術普及啓発。
・ 最先端の科学技術／科学技術理解増進／研究の推進・交流による情報発信。

展示概要

・ 日本の最先端の科学技術を展示。

活動概要

・ 展示（常設／企画）。
・ 実験工房。
・ 講演会、シンポジウム
・ ボランティア
・ 友の会
・ 科学館連携

延床面積

・ 19,636 m²

全職員数（常勤職員）

・ 名（ 年 月現在）

年間運営費

・ 円（2003 年度）

総資料点数

・ 点（ 年 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：未来館ボランティア

活動目的・経緯

- ・平成 13 年科学技術理解増進の担い手であるボランティア活動を支援する目的でボランティア育成プログラム開発検討委員会を設置。具体的な活動内容について学生、社会人、によるフリーディスカッション等を行い、未来館で求めるボランティアの姿を討議し、具現化。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 819 名（2004 年 11 月現在）
- ・ 男性：471 名、女性：348 名
- ・ 平均年齢 39 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：ボランティアグループ
- ・ 担当人数：常勤職員 3 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。 ・ 友の会サポート。
- ・ イベント実施。 ・ 館外アウトリーチ活動。
- ・ 研究棟ツアー。
- ・ カスタマーサポート
- ・ 実験演示。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ MM（毛利まもる）コンセプトに基づいて活動している。
- ・ 高校生～82 才までさまざまなバックグラウンドを持った人たちの集まり。
- ・ さまざまな活動の場や機会がある。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①未来館ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年 7 月 1 日

◇活動人数

- ・ 819 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 展示解説。 ・ 友の会サポート。
- ・ イベント実施。 ・ 館外アウトリーチ活動。
- ・ 研究棟ツアー。
- ・ カスタマーサポート
- ・ 実験演示。

◇活動日

- ・ 火曜（休館日）以外の毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算、ユニフォーム、消耗品、ボランティア室、交通費。

◇運営（シフト 等）

- ・ 9:45～17:00、シフト無し、各自で調整して休みを取る。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 2 回の情報交換会実施／メーリングリスト活用。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 通年、web で募集（展示解説、一般運営）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 新人研修、スキルアップ研修、マナー研修、分野拡大研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費、保険。

◇評価

- ・ 年度表彰式の実施。

◇課題と展望

・

◇その他

・

館園名 : 羽村市郷土博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1985年04月01日

所在地

- ・ 〒205-0012 東京都羽村市羽 741

公式サイト

- ・ <http://www.city.hamura.tokyo.jp/museum/museum.html>

設立主体

- ・ 羽村市

運営主体

- ・ 羽村市

設立目的

- ・ 市内の文化財を保存・伝承し、広く市民に公開、活用する。地域の生活文化を語る貴重な資料を収集・保存・調査研究し、市民に還元する。

展示概要

- ・ 「多摩川とともに」をメインテーマに羽村の自然・歴史・文化、特に玉川上水、養蚕、中里介山に関する資料を常設展示している。また、重要有形文化財の指定を受けている旧下田家や赤門、旧田中家長屋門を野外展示で公開している。

活動概要

- ・ 羽村の自然・歴史・文化にちなんだ企画展、事業を開催。
- ・ 羽村の自然・歴史・文化、中里介山に関する資料の収集・整理・保管。
- ・ 資料の頒布と発行、貸し出し等

延床面積

- ・ 1,557.15 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 3名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 44,457,819円（2003年度）

総資料点数

- ・ 約70,000点（2004年12月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：展示説明員

活動目的・経緯

- ・ 東京都の小学4年生は授業の中で、玉川上水を学習する。このため当館への小学4年生の団体入館が多い。求めに応じて説明を行うことで学習効果を上げられるようにすることを目的に、1991年05月市民公募による「展示解説員養成講座」を開講し、受講された方々により説明を行っている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 11名（2004年12月現在）
- ・ 男性： 4名、女性： 7名
- ・ 平均年齢 65歳くらい：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：郷土博物館係
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（嘱託学芸員） 1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 都内小学校4年生への玉川上水に関する説明。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 今のところ館により、運営しているが、自主的運営活動への変化を期待している。
- ・ 月に1回定例会を行っている。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート 活動名：①都内小学校4年生への玉川上水に関する説明

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1991年

◇活動人数

- ・ 11名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 都内小学校4年生への玉川上水に関する説明。

◇活動日

- ・ 団体の説明希望日・時間。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 説明を行うにあたり、勉強にかかる費用などをまかなう目的で謝礼として年間200,000円を予算計上。
- ・ 資料の閲覧や打ち合わせ等に学習室を開放するなどの便宜をはかっている。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1校の説明につき、1名の説明員。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月1回の定例会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 必要に応じて広報で募集する。「説明員養成講座」を受講した市内在住の方。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（養成講座）。
- ・ その他自主研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 謝礼。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 後継者の育成。 ・ 有償であるため“ボランティア”として不安定な位置にいる。
- ・ 説明内容の個人差 ・ 自主的活動への変化を期待している。

◇その他

- ・ 来館者の増化に説明員制度が一役買っている。

.....

館園名 : 日野市ふるさと博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1989 年 11 月 03 日

所在地

・ 〒191 -0041 東京都日野市神明 4 丁目 16-1

公式サイト

・ <http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/>

設立主体

・ 日野市役所

運営主体

・ 日野市役所

設立目的

・ 日野の歴史やそこで営まれてきた人々の生活、文化等を明らかにし、市民がふるさと日野に対する理解と知識を深められるような、また、ふるさと日野との結びつきを一層強く感じられるような展示、活動を行う。市民の教養、学術および文化の発展に寄与する。

展示概要

・ 「ふるさと日野の川と文化」という統一テーマに基づいて展示を行う。

活動概要

- ・ 常設展示を補完する企画展を行う。
- ・ 調査・研究活動。体験学習、講座の開催。
- ・

延床面積

・ 1511.02 m²

全職員数（常勤職員）

・ 8 名（ 2005 年 1 月現在）

年間運営費

・ 12,615,761 円（2003 年度） 人件費のぞく。

総資料点数

・ 約 30,000 点（2005 年 1 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・市民の学習活動を支援し、博物館活動に生かす。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・日野の古文書を読む会研究部会
- ・日野の昭和史を綴る会
- ・日野の歴史と民俗の会
- ・特別展展示解説員

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：日野の古文書を読む会研究部会

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 10 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・ 半日 500 円の謝金。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート② 活動名：日野の昭和史を綴る会

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 10 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・ 半日 500 円の謝金。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート③ 活動名：日野の歴史と民俗の会

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 8 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・ 半日 500 円。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート④ 活動名：展示解説員（「新撰組のふるさと日野」展）

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 69 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・ 半日 3000 円。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 文京ふるさと歴史館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1991年04月13日

所在地

- ・ 〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目9番29号

公式サイト

- ・ <http://www.city.bunkyo.tokyo.jp/shisetsu/rekishikan/>

設立主体

- ・ 文京区教育委員会

運営主体

- ・ 文京区教育委員会

設立目的

- ・ 郷土の歴史に関する理解を深め、区民の生涯学習の振興に寄与するとともに広く教育、学術及び文化の発展に資するため。

展示概要

- ・ 1階 常設展示室（区の歴史との「出会いの場」でその概観を見るスペース）。
- ・ 2階 常設展示室（「まちの風景」「くらしの風景」「文化の風景」の三つのテーマで区の歴史を見るスペース）。
- ・ 地下庭園（野外展示のスペース）。
- ・ 地下特別展示室（特別展、企画展を開催するスペース）。

活動概要

- ・ 特別展、学習企画展、歴史講座、小学生のための歴史教室などの事業の実施。
- ・ 入館者への展示解説。
- ・ 資料の収集、調査、研究。
- ・ 協力組織（友の会）の育成。

延床面積

- ・ 1,648.449 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 7名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 66,505,869円（2003年度）

総資料点数

- ・ 点（ 年 月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：文京ふるさと歴史館友の会文京まち案内

活動目的・経緯

- ・ 文京区民及び文京を訪れる人々の自主的な学習意欲に応え、広く区の歴史、文化財等を知ってもらおうとともに文京ふるさと歴史館友の会の活動の推進を図るため平成 11 年 4 月 1 日に結成された。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 31 名（2005 年 01 月現在）
- ・ 男性： 11 名、女性： 20 名
- ・ 平均年齢 約 60 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005 年 01 月現在）

- ・ 部局名称：文京ふるさと歴史館
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ①文京区内の案内を希望する団体等に対し、文京区内の文化財等の解説、史跡めぐり等のガイドを行う。
 - ②自主学習会。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ ぶんきょうの史跡めぐり、ぶんきょうの坂道、ぶんきょうの町名由来、史跡さんぽ地図など（いずれも文京区教育委員会発行）

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①文京まち案内

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 31 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 文京区内の案内を希望する団体等に対し、区内の文化財等の解説、史跡めぐり等のガイドを行う。定期的に自主学習会を行い資質の向上に努める。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 友の会予算（年会費 1500 円を会員より徴収）。ガイドを依頼する団体等の支払うまち案内賛助金。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 自主学習室。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 友の会だより、区報等で募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 自主学習会。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ まち案内賛助金より交通費など諸経費を支出。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ ガイドの増、及び高齢化。

◇その他

- ・

館園名 : 町田市立国際版画美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1987年04月19日

所在地

・〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1

公式サイト

・http://www.city.machida.tokyo.jp/shi/sisetu/cul/cal_1.html

設立主体

・東京都町田市

運営主体

・東京都町田市

設立目的

・内外にわたる美術・文化の交流の場として、版画を中心とする幅広い活動を展開し、市民の美術に関する知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため。

展示概要

・版画を中心に収蔵作品の常設展示、内外のすぐれた美術作品の魅力ある企画展示。

活動概要

- ・収集・保存。
- ・調査研究。
- ・実技指導。
- ・教育普及。
- ・刊行物の出版。

延床面積

・7840 m²

全職員数（常勤職員）

・15名（2005年1月現在）

年間運営費

・223,016,992円（2003年度）

総資料点数

・17,951点（2004年9月現在）

施設その他

・企画展示室1・2、常設展示室、版画工房、アトリエ、市民展示室、ハイビジョンギャラリー、講堂、喫茶室。

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・館としてボランティアを組織、運営しておりません。
- ただし、美術館友の会会員の一部分が内覧会手伝いなどの活動をしています。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 目黒区美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1987年11月15日

所在地

- ・ 〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

公式サイト

- ・ <http://www.mmat.jp>

設立主体

- ・ 目黒区

運営主体

- ・ (財)目黒区芸術文化振興財団

設立目的

- ・ 目黒区の推進する「明るい豊かな人間のまち」づくりの一環として構想、近現代の美術を身近に理解できる作品と周辺資料を収集・展示する美術館として設立。

展示概要

- ・ とくに、戦前の「滞欧、留学」期から近年の国際的な活動期にいたる、各時代における日本人作家と海外の関わりの中で独自に展開をとげたものを中心に体系的なコレクションをめざす。主な収蔵品は藤田嗣治、国吉康雄、岡田健三ら約2,000点。
- ・ 展示は、収蔵品による所蔵作品展、内外企画展が中心。

活動概要

- ・ 所蔵作品展(年1回)、企画展(年3~4回)、ワークショップを開催。
- ・ 館ニュース「ピリエ」、図録、年報などを出版。

延床面積

- ・ 4,059 m²

全職員数

- ・ 13人(非常勤2名を含む)

年間運営費

- ・ 101,941,700円(2003年度)

総資料点数

・

その他

・

2. ボランティア活動 名称：目黒区美術館ボランティア会

活動目的・経緯

- ・ 美術館を通じた社会奉仕活動を志望する人が増えたことを背景として、地域における美術活動の活性化やレベルアップを積極的に美術館が推進することを目的に、1987年10月、展示室の監視、展覧会の広報活動、郵送作業等の補助を開始。
- ・ 1989年、監視員からラウンジでの接客にリニューアル。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 85名（2004年）
- ・ 男性：1名、女性：84名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：管理係 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①ラウンジ運営班、②広報班、③トイ・コレ班、④資料整理班、⑤事務。

活動その他

- ・ 各班の代表（＝幹事）と担当職員により、月に1度幹事会を開催。
- ・ それをもとに、ボランティア通信「めぐば一ど」を作成し、全会員宛に送付。
- ・ 不定期に募集。欠員が生じた場合は、随時ロコミ等で対応。
- ・ 定年制はなし。
- ・ 年度ごとに会員証を更新している。
- ・ 入会時に担当職員が美術館・ボランティア活動について説明。採用にあたっての養成研修は実施していない。
- ・ 入会後は、先輩ボランティアより教わる。
- ・ その他、美術館についての講演会（不定期）、ボランティアのためのギャラリートーク（展覧会ごと）などを行う。
- ・ 開館以来ずっとボランティアを続けている会員が多いことは喜ばしい。
- ・ 欠席する場合、交代要員を自分で見つけるなど、自覚を持って臨んでいる。ボランティア活動の役割を、ボランティア自身で考えるように運営している。
- ・ 会員の高齢化が進んでいること、新規入会者があまりいないことが問題。
- ・ 自己実現、自己開発の観点に立って活動場面を開発する必要があるのではないかと（特別展における解説が、今後考えられよう）。
- ・ ボランティアルームの設置、専門担当者の配置などが必要。
- ・ 研修内容・方法について本格的に検討する段階にある。
- ・ ボランティア個人に対する評価をどうするか、一定の評価システムは考えられてもよいのではないかと。
- ・ 最も多いのは、50～70代の主婦。学芸員実習生や、ワークショップ参加者（20代～30代）が教育普及（トイ・コレ班）に参加するケースも増えている。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①ラウンジ運営班

◇活動開始年

- ・ 1989 年

◇活動人数

- ・ 68 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 館内のラウンジ (休憩室) で喫茶の運営を行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 曜日ごとの班の中で、ローテーションを組む。
- ・ 2 人 1 組で担当。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 火～日曜日の曜日毎の班を形成。各班より 1 名幹事を選出し、月に 1 度幹事会を行っている。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 欠員が生じたときのみ募集。口コミですぐにうまる。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 最初に 2 回研修し、3 回目より通常のローテーションに加わり、ベテランのメンバーと組んで実践を通して学ぶ。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費、1 日一律 500 円。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ からだに良いものを、というこだわりが随所に生かされている。
- ・ ボランティアと館との連携がうまく取れている。

◇課題と展望

- ・ 定年制ではないので、会員の高齢化が進んでいる。欠員もめったに出ないので、次の世代の人材育成が進まない。

◇その他

- ・ 他の班とかけもちしている会員も多い。

活動個別シート ②広報班

◇活動開始年

- ・ 1987 年

◇活動人数

- ・ 18 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 展覧会のポスター・チラシ等発送作業を行う。

◇活動日

- ・ 美術館の指定した日 (年 10 回程度)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ メンバーの都合の良い時に来て頂く。
- ・ 各回 4~6 名。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡網を利用。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 欠員補充のみ。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費、1 日一律 500 円。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート ③ トイ・コレ班

◇活動開始年

- ・ 1996 年

◇活動人数

- ・ 14 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 館所蔵のトイ (toy) コレクションを主に用いて、アウトリーチ活動やワークショップの企画運営等を手がけ、教育普及に努めている。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 月に 1 度の例会のほか、年 3 回程度のアウトリーチ活動と夏のワークショップに、できる範囲で参加。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 毎月第 2 日曜日に定例会。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 随時、希望者に例会に参加して頂き、意識の高い人を受け入れる。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 展覧会やワークショップ等のテーマや内容について、その都度講演・研修が行われる。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費の支給は行っていないが、ワークショップなどイベント終了時に、謝礼として図書券を渡すことがある。
- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ メンバーによって、プログラムが創造されている。

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート ④資料整理班

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 2名 (2004年)

◇活動内容

- ・ 他館から送られて来る展覧会チラシのファイリング等を行う。

◇活動日

- ・ 1～2ヶ月に1回。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 2名が担当。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費、1日一律500円。
- ・ 保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤事務

◇活動開始年

- ・ 1989 年

◇活動人数

- ・ 1 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 「ラウンジ当番表」の作成と、月別のボランティア活動日の集計を行う。

◇活動日

- ・ 月 1 回。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 1 名が担当。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費、1 日一律 500 円。
- ・ 保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・